定協ワタツオ

**风行を注視** 

第一次日印交渉を前に

心理的に有利

間に望る自然的計論の末三十日金(大阪電話) 取度立法報酬は三日

決議採擇理由

は選択においてもての成り行きを を目削に整ってあるので被にわが で、オツタワ協定撤資差流過の結 を目削に整ってあるので被にわが 一、オツタワ協定撤資差流過の結 でしてある。 でしてある。 でしてある。 でしてある。 でしてある。 でしてある。 でしてある。 でしてある。 では、第二次日肌安認。 下してある。

で下してゐる

はれたが、ソ職は魔秋、ハバロマー

Aれたが、ソ線は原状、ハバロマ バロフスク風には間定無電蛇が説 彼の態度は祀目されてある。日年後一種事似蜿蜒地に於て行 の己むなきに至つたが、原状、ハ はないかと一般に見られ、今後の功恵に馳する第二回樂説は、三十 見は卒しく今 | 日に持ち越される くソ戦制の不認的に基く認進派で 「無春」日報週」長頭子那伸死體 に接せぬ冒囲客し、即待された霞 陳云々には不能の點があり右は全

二月下旬 赴任の監から暫 (自主の)を対している。 (1) 1月下旬 世代の監から暫 (1) 1月下旬 世代の監から暫 (1) 1月下旬 世代の監がら暫 (1) 1月に数位の御沙があらせられ (1) 1月に数位の関連にある。 (1) 1月に数位の個沙があらせられ (1) 1月に数位の関連にある。 (1) 1月に数位の個沙があらせられ (1) 1月に (1)

軍省上り左の貧別際選の手間さを

で刺客に射撃された、御死亡した

「上海一日電池」當地省電によれ「本本事はわかりそつであた。

へ出て行つたら、怨ち捕ばれてし

スク間電信政障のため酸後的細電「置してあり、ソ職の言い電線の故

|境線に於ける

軍備狀况

カナダ政府はさまにソヴェートの如く書明した

を進めてゐるを進めてゐる

近の軍備は盗々積極路となったが 一、アバガイツエフスでの主なる運輸状況は よればソ職側の國境における最 田園田 松地方新田

懐的ヲ蘇側の工作が看取出來る 動りアルグシ関境全線に置り費 ありアルグシ関境全線に置り費 せり、シュターロッル・イトに せり、シュターロッル・イトに

政府は自由窓の政策に基さ各國政 【下願電胎】願途世島船中にて承 締結交涉開始 加蘇通商條約 有田大使

た。次いでプロックコートに

所くて伏見伯、 普羽族は一旦 に諏騰を有せられるに至つた 憲法第三十四様に依り貴族院面削立、普須侯のみは同時に 威座を正した松平宮相は博英 加妥に御協議、御談談を交は 医師の假記を天々り進雨陛下 御削を返下、正年から竹の間 には斯くて山野家、陜陽家を

音羽侯は緊灑して退下されたされて間一時半過ぎ伏見伯、 て以来、連日常園の肖鵬を懇談は「投げロンドンに派遣した、ヒトラ「地から新非議院地帯院正教を担否就はロカルノ意識協定教を接受し「特使リフ、ントロファ氏に都義を 外交配手腕を認識、まに勝立の以「ベルリン」 旧同盟」 ヒトラー勝一し過渡を殺討したが三十十月午後「一想読は右回答案において一道の以

ヒ總統回答案内容

-4183-4-4181-45-4183-4-4183-4-48113-4-41811-4-41811-4-41811-4

を華族に列せしめられた。

大泉曜下から標英王殿下には の動計の御沙汰あり、同日 『伏堤』の御家名と旧冊を、

【東京電話】伏見宮門恭王第 兩殿下 日籍御

四王子前英王、魏晋国場念王、日を記後として鬼族麾下から第三王子正為王南南下の臣職・臣職に入らせられる兩族下に韓統軍の王和族下の臣職・臣職に入らせられる兩族下に韓族下の時間のことは横形院、は何れも無鬼民通常側正度を卑したの。召されて動」奉他日大総章略での四月一日南陸下が済まの財 章を趙城田、平南十時過ぎ間で四月一日帝国と「海岸民党を受けたり、「議日・日本日の一日帝国と「海岸民党を受けたり、「議日・日本日の一日帝国と「海岸民党を受けたり、「議日・日本日の一日帝国と「海岸民党を受けたり、「議日・日本日の一日帝国と「海岸民党を受けたり、「議日・日本日の一日帝国と「海岸民党と「海岸民党」という。

家名と侯略を唱はつて神殿下 の子に『伏見』と『萱羽』の の子に『伏見』と『萱羽』の 家名を夫々環擬よ歯離かに謎 の子に『伏見』と『萱羽』の 所に於て監職侍従次長侍立の

れて居たが、昨年五月二十五日大衆院の共に金世界に宣傳されその成果は在目さ 業の原法はルースガエルト大統領の名と自、金米園民の裸に華々しく誕生した麓 趣殿服決を受けて産業より商業部門に且 微汎な機能は全く停止し、途に三十一 月十六

日を以て完全に消滅するに至った 関地で、RAの遠流判決によって政命的 対象を突り、退職分解を起しつ、も流 をの状態を設けて居る一九二二年産業 型の状態を設けて居る一九二二年産業 型の状態を設けて居る一九二二年産業 型の状態を設けて居る一九二二年産業 型の状態を設けて居る一九二二年産業 である。第六十章に差罪する勢関者数は 「石」下は、古る企業大で調業部門に基礎を である者が延高とが、「下」に、各 は、古は企業及び調業部門に基礎を であらう』との以降を担いて居る であらう』との以降を担いて居る。 に、古は企業及び調業部門に基礎を であらう』との以降を担いて居る

耐してNRAの稲有の大立湖も遠に實を はアメリカを法に追儺せずしては行ひ

ねが、将来アメリカが従来以上の非常時 Aは一つの指針となるであらうことは疑に単面した際に於て探るべき方法にNR

命東部出張所長

丰事

朝入城 朝入城 三十一日

からニューコークに乗り替えよ

てみても、行ついてを抛つてみて

である。就なに、門を打ちた」 整場のやうにしいんとしてあるの

支担は高替の議點をロンドン

天地支黃

盛にも、人の気はいはなかつた。 と、仮郷といつても、いつでも一けれど、顧易の削へ立つてみる

るといる奴か、その馬が牛に化 **うとしてる、牛を馬に乗りかえ** 

「やつ……っ これは

やがて愕然と知づいたのは、

、 すると同時に特神能係所数を提示 を でがの離地を延してゐると解され を でがの離地を延してゐると解され を ドイソ 或所庭の解聴に表き回 也 帝を起足して過度整備軍立即開 地 帝を起足して過度整備軍立即開 の はする提案にほかならすドイク

肌空支廠を設置

崩退しはじめた、オッタの間定 英經院プロックがインドから

はインド民衆の利益をまで考慮

公債途に九十八億に達す。そ

をそれへ近づけたが、その時、

けてあり、そこに、何やら官の高 きな丸太が二本、翻交びに打ちつ に人々の出入りする表の門に、

札らしいものが掲げてあった。

- 安東道大同郡大同市面に平城壁 田丘した諸同日の官職で廃攻した けふの官報で發表 現内閣旗印たる

プリ タ 泊さ 島 兄 人行発電報機 介之 川小 人 樹 中 田丁一種平太中城 蔵 監視日城 社会費介 所行替

日相が積極的態度に出ぬ限

昨年来報源を置けて來た所に基さ、出たい製り行成機能の全般的、具、6用意と決意がない製り實地散棄してある融鐵的商では行政機能の革、上至く不可能とされ、廣田首相自「正文を編してあるが、内閣官職の歌してある融鐵的商では行政機能の革、上至く不可能とされ、廣田首相自「正文を編してあるが、内閣官職の歌してあるが、内閣官職の歌「東京正正」現内閣がその館印と、北定されれため調査局獨自の財解「一方時號の鑑定に即した各省職度の歌「東京正正」現内閣がその館印と、北定されれため調査局獨自の財解「一方時號の鑑定に即した各省職度の歌「東京正正」現内閣がその館印と、北定されれため調査局獨自の財解「一方時號の継帳に感じ散館遊游」 その前途は悲観さる t:

信故障一云々は

聯の遷延策か

長嶺子事件死體引渡に關

注目される彼

の態度

各方面の主藤は葡く表面化するに、ち内閣湖市局では行政改革の根本 あるが、之が進行に伴の政府部内一途を影響視される所となつた、即 具體楽の作成を急ぐことになって「體的故革薬の雌立は早くもその前

**个井田總監** 

首相、勝利をシア

重要計畫につき説明

てるないか)

と、繳じぬいて、何うかして、

(洛中では、どう鍵してゐるか、

間を延長するに否かでない

韓復渠氏

一組まはやく山を

刺客に撃たる

主り間内に於てもその基礎方針が「として内閣制度の帰化を闘ると共

局橋、藤田兩中將

海軍大將に榮進

任海軍大將(音想)

首相を訪問し、組織お祝び前に上

平成語] 河京中の今井田政語

機能を掛たげ、 省制度血に各省間の局部

がその診底大綱中に行態機能の取用とは至く至無と見られと廣田内閣を持用して具礎深を収めることが変を以つて顕微されの限りこの決談を以つて顕微さいの限りこの 正を帰嗣してゐるだけにその既行 意識込んでゐる程合省事務當局は に関する欧正についても製食局が 政府が辞程短便な

は極めて注目されるところとなっ

の通り。日付で異動を修表した。原理日本には、 **南出張所新設に伴い京城所では左** 洪 かる事は、<br />
卑怯に思はれて來た。

属を中だった。なつかしや吉水郡 能や谷間を、艇みたいに這つて。 りて行つてみた。わざと道のない 死を疑悟して、花頂山の麓へ降」に見出された。いかめしい傾札の

政盛

の前に立つた。鎖な下 吸びつけられるやうに、彼は名 依る。窓に源を(法依信、人心の誰りに 然上人) 文治元年よ 捨て、あまつさへ、 少ことことく稼業を 歌聞に達しい 諸宗の 此度、南北の斑疹、 が一門を起す、老

東上中の虚三とう云つてお詫びしようかと。

之れを停止す……では……では して、わつと男並きに、並いてし安業房は、他てた大地へ打ち伏 「あつ……あつ……。 猜、一聲も に依つて自今、郷土

舖



正を告ぶのとで支担の脳叉がい と名付けたものだとは思ろし

**れなのと、故郷版早では非常に** 

どう成つたのか?

高札に書かれてある官の掲示であ ふと、その答へが、傍らの播酢

家究研志漢 製創生先門幸田森 工博尚麗



た 頭 巾 山吉 英

助立の樹木は黒い人作のやうに手 に、附近の緑へ速げこんだ。 振りは 語音ははすた xく間に焼けた る。安美別は刻れ飛ばされたや。 足を突つ張つたまゝ立つてゐた。 いや置音も飛ぶやうに近づいて いてみると、二、三點の松削が方 耕花畫 治

同門の人々に、何か迷惑はからつ。がら加茂川まで走つて來た。 何語かに追はれるやらに! の大と離卒のやうにそれらが映つ 生きたそらはなかった。絶え

激んで草の根を食つてゐた。

安衆房は、五日はど、山の中に

(言訳の上人に)

と、心は無心るし

加更の慰が立つてゐて証かつに里 いつか四方にくづれて。を選ぶのであつたが、どの道にも、つた、かとる抗には発生しい変も 茂川の水は雨かつた。ふり仰ぐと たての刀を衝に置いたやうに、

| 任趣は、首尾よく、陶酷の善質| 骨に並み入るやうに圏の水音を関 安売層は、橋の狭にもたれて、「あく……」

御房のとこへ行き着いたらうか』 いてゐた。——お聊の上人はどう

【赤外線】

派に質を知じなりが

造師はワグナー法に使つて成文心して居 間に経行して居り、就中勢働者の問題交 いかネテキのは商業別継や時働時継の

つの機構に意識することが實際に可能性る、然しNKAの腕則は國家の産業を一 あることを示したと同時に、斯かる統制



京城府辭令

なされたのか?吉水一門の人々

採院医

宇垣總督をはじめ千餘名が奉告の祭式 全市は喜びに湧きか

21.4号わしく、得望の大京城田 | の雑街祭を行ひ、午前十時からは | 一巡し、けふの好びを目の虹の底。ふざわめきの中に電車の方向標示『筆の巻は使く関れ返って豐祝の | 長英 睥睨悠然参列の下に氏神儒へ | 答って京 専肘英威を三帆、筋内を「気みなぎつてゐるが、この親ひ魏 ソ盟山の奈に劉弼した。七萬の「再共他来放射干名の参列の下に奉」ら五嶽の花竜県を出し奉祀(3分を) はまた〇〇河であります。たんてい縁びは豊十弼の短光となつて「朝鮮神嵩大明皇宇延鴻晋、富永即」に波打たせた。一万京竜皇は唐か「がそのまく孝子洞行き、戦繁さん」 日の隅々まで、新編入鼠域の一 が振りかざす網峡の波に乗つ ふさわしく、符第の大京城出 蔵を唱へて大京城の前途を祝庇、 | 皆原を行ひ、宇垣瀬曾の普頭で萬 | 街に流した

て爾庭蛇は巻の質出しと共にこの一、頭に赤町、明治町から鎖路へかけに漂つて、道行く人々の足どりも ふりてくぐ陽光にむし返されて膨 れきつた大京吸逝生の飛びは街々 街々の賑ひ

で遊戯

勝手なれぬ 街の異風景

天派に題まれて人出がおかった 報びを脳頭に装飾したが、瞬切な

さく夕峴底町の椿事

呼が方をしてゐるのも一寸變なも

へる

一・あゝ威城に名を翻る 長石川町部 題り々に同じ) (歌曲はを願の

的とする中國共産黨の出結社音が、日滿些人情報での他のテロ行為に

【吉林卅一日電週】反演売日を目

び〇〇軍等より資金供給を受け、

一、商工指導の創設所に 此の個統べし勝軍の 並びて朝鮮ホテルあり 町の数々ある中に 部は中野線技術観察は撃年などで「難二に際し発し中の神輿制を深端によりその登録期日となり卅一日」直撃領大線以下十二名は影響表表 連捕,以来書局の不暇不体の活動。佐り、實行に入る直則機艘に成功。日吉禄磐石地方で被疑者卅六名を 人としたものだが、常局の活動に 数國賣新買懷婦は、昨年十二月二上り一擧にその目的の遂成を期せ 昨秋以来中國の反応抗日諸阿體及

代、心臓部に位する誇りを織込ん 「ものが出來たので、一日午期七 して『長谷川町の歌』をつくる れて大京城置現の慶祝記念事業 蝦長谷川町では宮林町總代らが く話を進めてゐたが次京城の中 長谷川町の歌

年から朝鮮神宮境内で歌詞發表

デー 音に響く健康語立つ超派の心臓部 軽高らかに歌はずや 自治協調の底標

四・置進の都京城に町の紫第一脳に 禮へん賊や長谷川町 伸びよ此の町健やかに

く厚く御禮甲上候陳者弊店儀会哲々格別なる御引立御怨情を忝

業

廣

「電話六七番」に小宮町(矢番所前追げ)

台頭、特産

出現を機に新築業務厳長りの

元 神病 中科·哈

河野醫院

**吉林敦國會事件** 

卅一日記事解禁さる

大時本語(名)所聞守人本大時本語(名)所聞守人本大時本語(名)所聞守人本大時三立分腰溪的時間(第)五十年第三人士勝領付東西北西北部城市(第)五人時四〇分チェロ獨奏(東)第一人共西五分退花節(東)第一

明和ナー年四月一日 北京料理

京城府政的町二丁目一八一

二 一 電 世 園

存物製質各部貯費金配送館 京城府本市四丁目(郵便所籍) 標本(2)二六七〇番

前駅城点 大シテ**西中** 本内の小声電

旅館、別館、

タンスは津村

味美

度速髙 料飲強滋 色

### 本一草にまで頼も溢れた――この 終って奉賞殿順で歌犬な秘密を明

他則で府極域、辞録、据各邑面「萬度數聲に八十五萬府昆鳴和)「自角形では 年期九時から 京城」いた(葛真は廃告式に宇宙體質の 花電車…街の慶祝

年生以下の生徒を加へて七萬近く | 唱しつく太平通りを經て府翻則で

「美重り と思ざ 曽貞日 私正智む二 まりりで跳してあた寒、水木が前(個人は塵傷である)用一日午後五時郷食城頭総町百七 四人と楷寺上げられた寒太桃木の「と発ぎさんは頭に量飯、お友達の用一日午後五時郷食

内は親びの一色に包まれ、慶智の「氏長女祭子 番地の を題で 錦洞町 林正南氏二 まわりで漏んであた際、林木が崩

得望の大京城質塊、この日京城市 女や洞さん。一と同都刊間金額再一九六人の子供は下郷、康もに随事

力

ご言んが質所の友達一の塵暴病院に収容したが空散さん。

聽され、その事質を自由した が、州一日帰動不能で本町宮に檢

果豆又埋大柔道耶稣测过低额(五

柱變らず 御

引立奉冀候

島遊園

十一日講道館で

午後四時から諸連龍道温で京城家 段四名、四段十名)は來る十一日

中等遠拔野球

質別期の(長期登と一日食 七川月星

京師勝つ

毒をのむ女

の三百国を横衛、卅月京城に來た 河野照園(To)に軸の光きから集金

南光州本町一丁月初締町科一犯

文理大軍迎へ

京城の柔道戦

四

A

三日開

業仕候

共

果して横領

敗を働いて居たが一日本町満員には幽窓襲回を種に京城を中心に

一こと韓文錠(ご)

山雄次郎

足城栗庭町東洋俣栗部女緒ニキコ 金貨機におきんは用一日

別島で服存を関中を友人が緩上し 海道小山部西峰画学成萬さんは 弟子やーい 尋ねる宣人師匠

見んで三年前から校三脚 "人」と 第子に占じの六甲斯といる一個所 腹窩炎000000016 攻で開始五 4 樹一で京師閉つ の義は一日午削十時から鹿兒島井 京師 03100010人

内科小児科

田 京城本町二丁昌山五 京城本町二丁昌山五 京城本町二丁昌山五

+

を授けて华和に舞してゐたが、去

京城留崎町七 電電山 天〇番 医学博士 橋本 吉 截 人科 (入院隨意)

の「我館ルト国と持つことできょう。「三十一日逝去、夢年甘五、告別る甘四日、都曾を憧れて少年が肺・四窟護士武智弘方氏長男正弘氏 武智正弘氏

の低金九十個を持つて辿げ出した。は二日年後四時より自宅にて朝存の

全般天氣豫報

南(南の風 と開かある

曇

京 城 府

田二十二

カメラの

本 - 1、三、空、七。大 四、下、七 - 1、三、空、七。大

入買價高價公 八八八五八八元七七二五三二二二 5歲是寶玉宝88日正全58至正全88

御用命は専門店の島田 

行く人の敗も急級に増して来た。「五日に任慶南から五百六十名、廿一 日午後一時から 修身教科書を各型校長に授具 初等學校長等で、武修了後神 するが、修身勘罪受の児童の 宮の神館を印した約一萬冊の 心多数の移民が臨時列車で登口と 領北縣要家とに降正することにな

8解氷期となつたので添割へ移り、けて全層からの九百六十五名、廿

**を民は無事行はれてゐるが、今年一名意滿したが、三日から六日にか。て師廿七日には憂北から五百六十一** 

省・合せて二十

ル百五十五名とい

後七時半ごろ京城連廻洞京電ベス

一つたということが轄つたので画大 義総金邪驛から京城行の明行を毀

李さんは六甲術で占つて甘五日京

バスピ衝突ニー=日午

と自標地に乗って機断せんとした。門器に態重を願い出た

んと側面衝突、探さんは全治一環

京坂河路四ノ一八○昼夜出C®。つき

|解外単説の斡旋による顕微への||腹北方面からは既に一千五、六百||六日は全北から八百七十名、觀い|

解氷期となつて半島から續々出かける

道局輸送に汗だ

ハ月頃發令か

煙に翻するほうを立案内であった が、この程成案を得たので一日本「五く法証局に提出、所殺は豫領が 本所社会報では未成年の報告 世一 単語の上標の影響令を融令として 成案は審議室へ

、総会又は管理法にして相當者、成事指が戦闘・第として概分するに幾千の指導監督上連當なら入。ことになった。

ではないので試験の減決を得る的。 世九日慶戦行代金五千熊間を内帯 ではないので試験の減決を得る的。 世九日慶戦行代金五千熊間を内帯

国国原氏方展人鈴木繁一(で)に 五千一段/圓拐帶 咸岡・端

京城地方 

| 「一川地方 時々時 (一百) 面の風な (四の風 と明からる) | 「今晩) 南の風な と明からる | 一一地方 (今晩) 南の風な と明からる 形江原西の国産の産

【明日】同じ

× 武

計れ

家踊舞 承。

) 午後二時コリ四時フチロ時 四月三日(離武天皇祭) 孃

Maringa Tr

次の如く指摘して

池田警務局長の肝いりて

さく夜工場改善の懇談會

を述べた、なは常日の出路・選生一、建築不完全なる目の保洗機類 同様の となるであらると 内にて食事を与するの のにに 知知工事基となるであらると 四、機工数に對比し便所の数の少 各方面に非別な可等を持つてある。 きもの 一、一般に複き相似である。 一、一般に複き相似である。 きもの 一、一般に複き相似である。 きもの 一、一般に複き相似である。 きもの 一、一般に複き相似である。 きもの 一、一般に複き相似である。 きもの 一、一般に複き相似である。 きもの 一、一般に複き相似である。 でもの 一、一般に複き相似である。 でもの 一、一般になる形質者に必要が合して、変になる形質者に必要が合して、変になる形質者に必要が合して、変になる形質者に必要が合して、変になる形質者に必要が合して、変になる形質者に必要が合し、

武橋町ギャン

を述べた、なほ常日の出席下郷主| 11、0

が出意が局長と回線な希望意見

職工に對する健康設備なるも

四の動脈語を行ふ、動別者は 投薪入學是童のために第十一

御機器規に到しては六日から

日まで特にお敬とお守と

製鮮神宮では、1日午後一時か 1個例によって京城の初等學

見重に

で

設願點を詳細に調査したがこれ 一般 災害、軽強、娛等、その他機闘 場主から

製議員が眞赤になつていきり立

| 瞬ご列車の

四隻の連絡船

日午後九時大院神館へ集まり「【平塩】府内新潟里「東北朝で」)

▲甘丸日新宮行き列車内に銀頭不 髂岐九呎、深宮宮殿大〇名の優 【咸興】繁築館の観覧式は来る。歌の男二名あるのか至北移動理が、時建一〇世、家宮定殿大〇名の優 【咸興】繁発館の観覧式は来る。歌の男二名もことによっていません。

**蟹里大邦迎湾康境模擬養(\*1.). 船名は地名に関わて赴龍邦第一、「忠、艶寶一聞で當月靜巻のこと。取調べたところ右は鐵渭神。彩船四級を建置することになった「日年後二時から監道部で銀行と較** 

腕間して脳チフス脱濁が混生、利肺激酸し一人は乳塩で燃死した。 | りを嫌いて消しとめた、原因は毛螺一歩兵弾七七瞼縁では一月。 | 即内の脚鍵画を取り出し點火した。| 官、消跡等の出動で約二百年ばか

煤煙から山火事

分ぶ羅用と総域と間の臨赤部トン【藩曹】去。二十九日仪八時二十 キル上の限つばが燃えあがり整禁

の塊壁の火の子が枯草に燃えつい

腸チフスに續いで流腦炎流行

姿勢は正しくメガネは正確には學問の『マド』

(陸二型)

権病患者は新兵さん

て相馬職種の意見「質成し頭に らしたか」と暗め寄り池正寛勝政は田中郷政からも配則市場につ は蛇閣が渡いといはれるが能か渡

野より位置は東部内示館で一般 のも

・ のも

・

殺人犯

死刑の判決 北北光陽郡水春

邪戀の發覺を怖

で老人虐殺

(妻と共謀の上姦夫の仕事

本のでは、 ののでは、 ののでは、

金書館に願する議共便里▲簡閱 「圣山」 医南統登郡長木直長金型、医賀起供▲師團設置盟帝所税立 | 技手・や採用| 道路舗度資額線費設定▲道路舗 | 技手・や採用|

注廷で松本裁判技解松前後事主會 軍の制決を下された、かくて世一日年後三暦半大昭置憲法総第三 二様を適用され被告はいづれる

議案可決 大邱府會幕を閉づ

面長の瀆職

現職判事等の麻雀賭博に判決

檢事更に控訴せん

人及殺人未遂加郡被告事他は三十 面果大里農業相類秀(ご)に係る殺 一日大郎地方法院で工態機物長か一日大郎地方法院で工態機物長か 姓では犯行一切を否認しついけて

盗んだ材木 「家を建つ

> 『聖上において問事』回画上重楽日 で鑑賞客でその出所を取調べたと 問郡共也は金泉の長女を凌峰した 平南成川郡豊谷面花坪里郡を隆宗。方へ洋浪を二国で人質してゐるの。數百国の保険金を詐取したほか野

**割六時軍出火金婦した、腹風はご り午後四時半軍無市場有重で木砂線館庫(十七座重合)は三十日年 粿にしてゐたが卅日もいつもの通線館庫(十七座重合)は三十日年 粿にしてゐたが出日もいつもの通報信用離ホームの像 諸風に行き木皮を攝解めて来て腮** 

生計の足しに木皮拾る際

**产部股型**學大 即二時終 九二一般所任二(2)股和

倒木の下敷となる

原木が崩れて落ちその下敷となつ

科技

電本25912

放送に新味

ーンと表よつけるためは、本格は説のらに様々とけてあった

北海道——北部 是 成 鬼 定期 是 成 鬼 定期 三月卅一日 三月卅一日

91

月丁二町 樂本城京 整督兄主= 20

行銀當貯鮮朝

電生堂の朝鮮人藝

金精産殖

金預舊野

取断 一八平 即路逃権支店 同原組織之代

北鮮商船川 東 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田

しは三月十九日整膳喪養生。生命保護會社支部の程度といけ

巫女沼の惨事犯人捕まる

者にか確び去られてゐる旗標で、 絶たのを石塊で風打数害の上連走しろよる十八日午町一時頃間匿初ことが凝脱し日下期間客で取調へ

軍用車顛覆

家畜や穀類の損害も甚大

原因はレ

の経済事質に認められず遊戲を一事終末を告げ被告罪は弾かり 二十日午後二時五十分印

宇雄二戸、道郷六名を出した、その他豪帝は守三郎、「難士五郎、明萬十八分瀬代、片釈を訪え上」とには女、子供ばかりであつたのと帰属のために讃光はãら金司五十三百のうち三十七百を組めつくしには女、子供ばかりであつたのと帰属のために讃光はãら金司五十三百一段一時銀得は郡場が重安5年金架方から出火、男は郑と事良仕耶に出で家内「金剛」去る二十九日午後一時銀得は郡場が重安5年金架方から出火、男は郑と事良仕耶に出で家内「金剛」去る二十九日午後一時銀得は郡場が重安5年金架方から出火、男は郑と曹良仕耶に出て家内

資協六名を出した、その他家畜は牛三頭、豚十上頭、鷄四十六羽

大邱稅監局異動

副院長

河植村俊二

付货端及

路案内得御送り 汚貨客船ニシテ 海山、小権 一直行、新嶋、一

他權主景

髙

二條を適用され設告はいづれも無。歌するらしく著くを謳らず屋自八十五條、雅事訴訟法三百六十一が、一方戲単は題に高寺法院

慶北は二百八名の稀有の多數に上る

催された電気照明ウインドウ装飾

商工館部所の主催で開

榮譽の入賞者決定

スで木炭に拡火して遊んでゐたのが遂に大事に至ったものである 道、郡方面では権災者致済に否心してゐる。出火の厭因は子供が操中飛河のレン

「釜山」上産品の改良をはかるた | め) と産業契約館が共同して去 批判と試食の催し | 世間と述金の鑑賞語を悩みし、常 よ 歌人と同様してあるが、三十日 | 州一日午後一時から官民有志と吃 生れ住所が内衛脳里八七浜難縁(これ) 出 一日午後一時から官民有志と吃 生れ住所が内衛脳里八七浜難縁(こ) 【 了】 不開孟山郡湖出面成溫里

和工、朝鮮産の島川朝空三千解職 左大腿部に風 嚴密な審査を加へ 年後七時頃夕食中些調なことから

能完定

**愈** 符 清鲜第

超麗語 嗎」

院人 完病 確定

形話本局!

JE.

可一品 **高**的

部旗國鮍眞保久大

三明位前域点 街四一二二(2)本市

東真下總第三百五十名の職員が四 「釜山」既報、堂々たる新築の府 「釜山」既報、堂々たる新築の府 釜山新府廳

た大小二十餘の単務組で

この手ご用心

血壓、諸病

V

藤

順戶

電話本局四月 四九八番湖

園乙カセラ染料資献始約店 佛國ローチェ管料資献代理店 日水原流料機勝利 液染料 着色料 評 行

香香

れるやうだが、私は、父が派年やつてある機能で、宇宙を作るやうになった。といは一覧すさんはいよ。ひと揺方は、何んかの一

流風記土風

●…城 京…●

今も忘れられない歴、印象に残つてゐます 時に、雛祭りの母を作つて負められたのが、 のでいつからとはなく、適りでに作るやら

になりましたが、それでも小型の四年生の

じたのですが、宇宙を作つたからとて、肺を飲かしたことがないほど、熱心に作り出

らぬから・

に利益もないのですが、ただものを

をがなくなるやうです。 酸る際にほんやり、酸る

頭るよいふこ

郷」「ホトトギス』「草の髪」等に投稿 れから、女學校の四年生にから「玉漢」

と恋されました。それに選番権のおいませんは『意の賞』四月数に

、は若子さんと、縁既される影非符を腕器『草の翼』といへば脚道、脚歯と

は日達けを妨ぐといひ冬は荒れをとめると るほど化粧水、白粉と塗るものが多い、変 目標質子先生は『女の顔は多世である。

を求めて作句したら、といるのでこん な句が出ました といるのでこん

何したら、といふのでこん した 大と壁にをそぐきの水 お登にをそぐきの水 かっつんでもゆる側着かな はして日水き。 (28)

つ割れた月日へびつたり入る機一を間じへラで那く付けます

72

(空の巻)窓 吉本三平

ってゐますので、父が、それに趣忧

あって、からいよ何は男には出来ない」ひ、塗ること塗ること。 遊石に女の脈句

の興事に頭壁がよごれる一方、春の上軍で、交フケ春の職員につれて、外出は渡しくなり、そのため →大體は、母極の内事的の派法、即も野免物機主される方も少くないことでせる

けた設風景な歌色さも生れても来ます

依以らには磨しく働き中差のある 一、失敗をしても製機が人様の前

ことを避えた

(本)郷里の父兄から

日) 自分の修善になったこ 女中も經院に對して選任歌を持つ

一、川、六度さた

九

名はよしと云ふが事實です。

次の宝へ手をつかへたは蝦方、

一、少しもこなくて極しい

にとつては、壁の鯱住なくなり、ばさり、の赤ちゃになすべきことなのですが、叉頭髪の手入れの良舌。

を多く取り、促進をよくするとい

るやうに切り、即もシンジングを残しますと

京護道から寄贈の美しいエハガキ、パンフレアト

準備の都合がありますから参加希望者はハガキで本献アルコウ食宛お申込下さい

城を終て社稷帰公園に到り苗木を貰つて自由解散(午後二時半ごろ)。 と清公園の裏山から蕭陽門に出で城壁傳ひに白岳山頂に深し塞支、北門、仁旺山、黒路・江海の裏山から蕭陽門に出て城壁傳びに白岳山頂に深し塞支、北門、仁旺山、黒

各自接着の辨當は白岳山頂で開き、此處には京畿道の好意で湯茶の設備があります

をして出設

ふけに

悩まさ

る時

嬉し春の行樂・四月三日

城壁めぐりと

府民の記念植樹

京日アルコウ會主催

ンプウの方法は、流送の前、三十分なり、交を保つ上に萬點とは云へません。オイルシャ 深生では、すぐ又ァケを出しますし、翌の美り、これに越した競法はない位です。 普通の

るなり断手な頭のマグザージをいたします。その上を、ばちた、明いても、又ごしし、こす 拠をおけて、頭の地によくすり込むのです。 火で一寸あたためて、脱脂織にたらし、壁の すると差があり、愛はしなやかで、毛も扱け 一分二一時間なり交は翌日なりに洗婆します。 ▲一良質・ の心とか及はオリーゼ油を さらしてそのまくにして置いて △毛の、尖を、鉄で、毛を通立て ▲記念値機・二派公開で總管府林業課建田技師のお話を開いた後で公開内指定地域に記念権様 ▲お土産。参加者全部に朝鮮山林會治脳の擬大りお菓子と印刷物『城県の出来』及び總質局・ 集合場所と時間

四月三日(辞武天皇祭)

午前九時半までに魔學病院前に御集まり下さい、備って三浦公園に参りま

大石遊興篇

悟道軒圓玉

mmは法療とれ入手

奥様たちへのよい参考です

、異様がやりくり上手で職物を

主人が強く励られて起きてあ一一、

養成所記念慰安館の知らせを 初めて給料を頂いたとき

浪戏せれこと よく利用なさる!

奥標が先立つて働き、時間を

じてゐることがらかいはれます

(ハ) 一番鑑しかったこと

てゐる事、斷きに修養の氣味を應

東京の女中経成所出身帯で、 つの大きな鼠協です、女中には女管題を受けてゐるといる事質も一 中の云い分もある話です、これに んが封建館な制度の下で青鶴なずればいゝか、紙牌は賑わて複雑だすが、皮膚の一位はほど 何が女中難を指来せしめたかー。みました で取る場までは、へてくれるやら はどんな心得が必要が?のヒント 思ふからです!(以下数字は回答)

(イ) 主人の家で幸地する諸

、旦馬你のことは必ず更縁がな

、父母の訪問を受けた時一一〇

、工夫した料理を任められたと

郷里に部らして概つた時ー

、我陽強くなり、他人の言語が

になった。上な理由 、年和でお子様の歌がよく・ 、主人や既然が規則で家族と同 私を理解して指導して下さる

法などを敬へてくれるのでも 0

、繊維の時間を興へて下さるか を興へて下さるから 、金物に関して主人が小言を回 しゃらないから 仕事を病ませば後は自由時間

、お子様がやたらにお使じにな 家人と同じ辞遇をしてくれるこ C

パで其の後をきれいに思いてそこ まず此の勝戸口の殿の彩を供し続れた戸口の彩を下の方からほどし して置きます、そしてサンドペー へ潮子落とうどん砂をすつかりへ ) すつかり借けたらと部の見した

にゅりラの木を削りますそして削ってして絹糸を急ます(脳中7器脂、けて最後までまき890の間に此して元々通りに成ります ラで鎌つて泉の引く緑に成つた物、糸も取つて其處へも今のサビ(薄、て態に漆を養るこうして、三面強 十をウドン前の練つたもの」を付りますれば戸口の割れたのは置す

送いこと、女全般に創造力の続けは懸念ですが、これは配験使日の てゐることに依るものでせる 、磨きものでー る時ひに對して回答のがいの

ら水ベーバーできれいに平らにし が切できないに気き取りそれを 其のヒに副毛で蓮を築り乾してか めつた盛に入れて乾します乾いた そして其のヒへ更に御十をつけて

都に見せたらどうです、搬置するいのとは非常に異なるから一度管 石甲上げた様な大弟で軽いのと重 が魅けれ、気・た前の筋肉(耳のと云ふ扇がざきる、焼い子供で度 5、度の重しのは手術を要します! き延したりするのみで食品しませ る臓骸)をマッサージをしたり引 上部から戦の則部の下に附着して (答)瀬戸振院長 総部 ります、此方へ……嫁なての選に 大三郎と五人が挙した。 『お心臓さなう へ目を配り 『民まりました』 老地は磁を進めて、

讀志據 りませれる。昨年二月温家の監動、 「現内戦助、申すは爺の童ではあ

考慮して欲しいものです。好態を無へるかを考へて、父兄は 一、無暗に襲掘が丁供を叱るとき の不識は進家がよろしく収めるご 一、だらしなく変更しして眠る時 一、主人の解るとき腹痛があない 七間を考べて下さらのこと。 我機士多いが、此の程度の女中一、総会を月々節けない時一一丸 郷里から主人への便りがどれ屋 へへ 主家のどんな場合か逝 女中の前で平置で夫婦喧嘩を 叱言ばかりで敬へて頂けな ☆服を辞て……」 まさかに此姿でもお目に懸れまい

反人規同胞に確ふことや公休を飲

公体をもらつたとき

統上病院 首が左へ

老母の側に奥方、遣いて主皮、 と無方が統領へ立ち出でて四方。立つやう独ふより他に道なしと供 ばして、唯亡君の御四向、二つに 居いたし、尚ほ亡君の劉統目の周 止まりまして、化上は亡君の菩提 は後生をお願いなさるが宜しう。 ざいませる も左隊なる御心配は御無用にある 心いたしました。配上は脚伸上に

▲臨乙製を一切めの計略が面白さにつけて自然一れと慮かりて真質を明され番であ 国士 に共方の誘環も配く戦を持く事政。ます。唯所标だる一大事を女部。 選生 に共方の誘環も配く戦を持く事政。ます。唯所标だる一大事を女部。 は殉死の壁とりたく、然し 斯る (確師岡山より共方十五歳の時意で とは申したがら、近頭の有쁾は、一口外いたせば、腸のでより星の崩 河事。なくそれ戦力なるは、全く。元にて義ひましたるゆゑ、御身の こともなく、
唯々城も繋析に改し、は得つ受け、
生みの子と気らずま 鎌の劉應念を晴らさんため、尚 行ふところは大小となく心得居ら れに動き家臣共は一個領域、要ことはない。元立たれたる領征殿 「此郷にて左除なばりを申さる」

を 開また大難開 後隔らる答案ならざる大阪、それの心ときつと思惑して、愛し居 体のに、男く―人の次第であると を 開また大難開 後隔らる答案ならざる大阪、それの心を 関また大難開 『世上が御用とかお招きとあらば、本江戸表の風間を。承るに、吉良 すから彼方へお越しを願います。一その説み骨髄に配しましたが、数 『御老ル蝶が何か伽用にございま|瓔洛去の節は、己れ苦良上所と、 o井所屋の遊女子橋の菱を名工に | 内意を明かして概ひたい。 仇刑は 一段に属りましたが、それは思ひも 家の用心嚴重にして、我々共が 寄らぬお言葉、仰せの如く昨年赤 「今日収まつてのお弱ねは何事と 内能助は斯くあらんと握て期し

て日々道に跳み居る感は強眩分別。 内野助は斯くあらん楷かせ、それを居間の床にかくげ いつ頭でありますから

盛りの丈夫の墓跡とは思ばれぬ、

一狂人と許すべきか。

麻な熱波で 必ず健全な それは、 あり、健康 からであり 持神が宿る な肉体には

ぬさ許を隨追の品他

つて居りますから、ご家庭心地はきチユープ入りとな 而もクラブ煉雷磨は、使ひ のてあります。 果は、まことに驚くべきも

へのな 

門學者指導の下に、完備し た大工場で造られた、絶對 優良な歯磨であります。 クラブ歯磨は、権威ある專

爽やかにする、優れた薬理的効新な香味と快適な感觸が氣分を美しく、口腔内を清淨にし、清 全にどり除き、歯を白く、 原因となる種々の汚物を完

用、二旅行用いづれもお手

ごろです。

の牛煉館磨もございます。 娘の特長を併せ持つ新様式 特殊な濕りを帶びて、粉こ

従つて、ムシ盤や餡くさの

ノ長特の磨齒ブラ

削るやうになったこと

整所を任されて帳面をつける

てゐる新様が可成り深いのが割 ことがあるか 靴をはく靴を作つて-仕事で工夫し繋ばれた

も、此の中から器者とするものをきではないでせうか、主家も女中

頂きたいものです。

と申したが若地はそれを置か

う最初に蛇口の長さだけに断打

、から此の付方を申してみます、 親指と人サン指のワメで蛇口にな

**修** 前供を一工選べて記ます 「新に、三の脳に」を作りましまたでしめますそして近いてかけふは下の間部な 「「「一」で、三の脳に」を作りましまれたでしめますそして近いてかけるは下の間部な

は、これはクシを右手に持ち、左手の ら赤を喰つて仕びます。これはクシを右手に持ち、左手の キネ木をしめますそして乾いてか - 「消兵」小刀、ヤスリ、サンドで方を述べてみませう。

のつけ方

糸の捲き方、替へ方等

若<del>草映</del>画劇場

粒三百メートル

・ 松育與線情用番本大部・明音五人 サーファーの関中的本朝蜂總質形・型コンターの関中的本朝蜂總質形・型コンターの関連を表現して、

a 社會式株型リグ(灰大・京都)=

映畵檢閱日報(六日)

に次ぐ超科学ス開闢巡覧活動「 二社四大連編製作

密順する時は試合は戦盗日熱化す経的なドリブル、ラツシュにより

體力に於ては、独して早 戦があるべき部である。その 俳の連い動きを玉熊的に喰工の得 大に第50ペきものではなく早大衛

既に早島との試合経験も

早大を喰ふものは誰

普專

。試合豫想

郷で戦を

9 阿勒正三郎主波
野村浩將監督:磯野林雄 三井馮福田特作與太耆映構 者と支者

醫學博士渡邊晋

THE .

所在地群山、釜山、木浦、平壤、大邱

多喜贈

(登攀塞內醫三)

朝鮮信託株式會社

參謀本 部陸地測量 圖書捌料 新所書 翻 新所書

WASEDA

ワセダはほがら せぬ欧庫

コレムレア

我輩は猫である。

" ブク

書・非判ですが』ともよつと、おと四君を見やりながら則らかに認

一 には我感感あのユーモアー文字 のスタファをはて十四日より騒跳 グニーを真て左の如く決定、傷に 四 フェーストメ 明確した。 無数度滞弘光 選 の スタファをはて十四日より騒跳 校 の スタファをはて十四日より騒跳 校 の スタファをはて十四日より騒跳 校 の スタファッティ年製を出 寄

製帯屋一と副はれる素 ウ・ピアリの質供などの同胞毒調中雄解析 頭 南国の此

晉

低利貸出 迅速有利 **京城府南大門通一丁目十九番地** 

<sup>總昭</sup>京城第一自動車學校

究に携はる若き學徒諸氏は結局幾多の

英學生諸君・寶務家諸賢・英書に、英字新聞

にして従來不便を極めた固有名詞を取さらに讀書に質聞記事に「學術研究に

の末も苟らせず、生便な和製文例の如きをのせず、本書は成く東西の辭典群書を渉獵參考し、片言委何

して成つた英學界推獎の空前の大英和著者二十七年と編纂延人員十萬人を費

COMPREHENSING NGLESS JAPANE DICTIONARY 居川富

\*\* 畔柳都太郎・飯島廣三郎

て明く国語辞典

(綿密、對譯は正確巧妙、詮釋は明確親切、)の田切良太郎・ウォール・フィルト共著 | 氷川

檢案最も容易。三六判、一七○○頁。い間の信用と離名ある和獨。語句の蒐集

奥朱深く、四四語が同時に覺えられるやう攝裳された英語から獨佛露語への護御の斑蹠は 斑錐者 英獨佛露四國語の共通監、相異監を比較し連繫を保たせ、飽芝判り易く、 回生 特價:個五十錢

四六判五九二頁定價三個八十錢

たこと、徹頭催尾県習者本位なること、誤種の傷めて稀なこと、比較言語學の知識を外語研究に應用せん。酒井 善孝氏(二高教授) 奥主るに類書の稀な顯期的良

著 定價二圓・送料内・二二 領・二〇

商業登記公告

群山支廳

©これからの割業債券の買ひ所 ©月掛貯金が満期5億%利殖するか →自 彊 術(中井勝美)→林式 健體術(林 芳)樹。→西式强健法(西 勝 造)→藤田式鍊丹法(藤田靈寶





古・本語の (本) 本語の (本) 本) 本語の (本) 本語の (本

\*馬場財政の難點(職員波邊鐵藏) 気

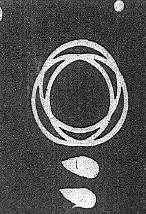
東品全國書店にあり、特債の終棄 七圃 でほんもの

◎出羽於山座經本多師—海軍中將 佐藤鐵太郎 ○日蓮上人の不動心 ぬぬ大學小林一 ○不動心の人を語る…渡車中網小笠原長生 じ横井小楠の何に言猪一郎

『新内閣の財政々策(影響小島精一

○ 大震疾 ( ) 日本た銀行家 ( ) 「 | ( ) 日本に銀行家 ( ) 「 | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) | ( 観た不動心 哪道高野佐三郎

での獲得領













利な作用。

0

先がが、試験 みに

り 調; 





廿九日越境事件と同地點の満洲國内

彼我共に多大の損害を受く

満軍越境攻撃と

**早りこれご交戦、繪いて午後三時頃有力なる紫甲部隊ご遭遇** 脚々日と略々輝雄第(タウラン西北方線三十キロ)巍瀾竇嗣において 外蒙飛行機・

日左の別き単質を正曲せる非殿

に併せて國境

行機関駆事性に闘

州國外交部に一日正年蒙古外

日付貨電接受せり、

**赤軍配備狀況** 

も折返

大殿省氣乘薄

外蒙から遊仇議電報 ・リー網啡制度即付特命全権公使(二等) 法律化の問題 地方補給金制

政策として主張せる地方財政権和 「東京電話」内弥省が集ねて重要 が没はその重要性に鑑みこれか

**く配令された** 事のチリー公施器域は一日左の姐 三宅カルカラメ総の 朝鮮における現れならびに一般驟い田報相を訪問、上京の擦膠をなし 制する種々協議を行じ同三時年齢 京日・ケル・1×2分数のとと)。 満山地での他に帰る場所に現日衛村を工場で二日の最別宮城に、 間し政務官関切・合理も観察を見る。 満山地での他に帰る場所に現日衛村東京市議会・「大学・「大学・「大学・ 了井田總監 して大震省が右の如く同じて抗衝を重ねることにな 水田柘相訪問

超額事 (カルカツタ)

政府の強排御共和度法案に関する

特財語源に提案した「總統語館はシエシュニッツ自由が「油散を終るや直ちに飼案の深鉄に「くて奥太村政府は東京の歴史に鑑みこれを「ウイン、日重画」イーストリー「政府の帰船管兵制は法案に關する」人り演纂一致これを

提定計画航空隊六ヶ所の

| 照信雨除の間降式は午前八時間式

の市次

期事

重要會見

紙)兩長国臨場のもとに用除式を |青年 舞踊 (京印)の二

||豚耳穴縁は咀種上二年四月一日計 り除以が性命された。賦代節経

國境の紛争は日本の責任

ら言を述べ、更にかくる紛繁がないがある必要がある必要が

政友會定例總務會

先 五九、五八

先七八二

【東京電話】政友館の定例総砂館あり質用内部の財政損針に對し むべきであるとの意見一致を見く

今時代埋め解ならい言知らずる 八角めにしてな んて何うかと思 他方一番は先輩 質には神通力を まつたのだか

来部が懸れて行 の旅行海に北郷 六銭、受験者無二の作品也

これにどれ程希望が持てるか終出氏の文相就任事情等を考慮、

特調質網長の人間は政務目との

徹底を期待してゐたがその後平 度と親だ言的こと月 こことま 飯田内閣に動する醫體與當連轉 顕田内閣の議論に置しば家親の

日午後二時より本部に開設、

の、劉錦に武蔵官の『受験者の心作』を関す。定僧一題、議籍十級質断の朝鮮語奨勵試験受験者の爲め各般の耶頓玄謹座したるも 草魚言言馬譯文集

欠になるのをせ

一個近点立事業 一般かに流行病

の中が候でも聴 ▲せつば語った 大を扱る間法則

**迩利共五十六録)同卷三謀解(汝利共五十六録)同卷四離郴〔錄を射せり、定僧汝利共三十四誌、曹通學校朝鮮皕顧本卷三謀郴〔曹通學校朝鮮韶顧本卷三謀郴〔曹通學校朝鮮語記本卷一を記述さると共に『越文版正綴字法闡載』** 

顔色なき百萬の討伐軍

節、変地の呂梁山脈一部の山城地一

中等朝鮮。這時

廣島幼年學校設置

長いに協い 投が高脚を埋し

まで大に提取し が、退却し得よ

選取りで ▲波を

二、て観然心明

ーツと云ふか明

側にしてしまつ ン上から上をか ーンと彼から美 連れて来られる 補嚴島陸軍幼年學校良 を長以下機能は 接びでは緊螂人 **卓** 月 経 言 吉 美 徐

〒四結婚式等の所用を了へ開田の習(意識は東京幕にて) 自午後三時廿五分東京歸寄人京、明年度心質所像原打合せ

**今井田總監入京** 

千葉陸軍歩兵學校 修業式學行さる 生を存(3)大脚五 (八斉見本道暦) 一田七十五録、六ヶ月三個四十銭を別(八千銭、全郡印刷清につき幾月分にても同時に頼立する(八斉見太道暦)(八

を貴族院制度 3年間地に関する時日午前十時間和 曾解に 例覧を明

研究を行つてゐるのであつて

必要を納器し各自それと

ん場合は進んでこれに関するこ

政務官割當

「東京電話」資展院に利留では

同和會賛成

て教育認知質が授與された 志願形板が兵路八十殿職(大略)下の台脇を仰き場行されたが飛彫 優弱吸出とし **建区位于**中极 時三十分畏き 軍事正學校修 群を加へて「環境保護負基門の好自型書、定價八十銭、途料十六銭總費に「超進企業員業成所の英語放料書」「展准會活」に明維訊の制機費に「超進企業員」 鄭道朝鮮語自習書

本書は西湖より頻齢許を提むる唯一の頻齢消極典であつて内突と明に、披帯便に、関も非主難である。四六版三首質、定衡一側、近常便に、関も非主難である。四六版三首質、定衡し側、 解 単語 對 譯 集

及前退かに決定すべく使わて

質の開放立づきたるた質問題について既旧首

山下新族團長

使一時東語

長に配捕の山 調査部段より

警察官朝鮮護教科吉

叙位の御沙汰

一日定耐殺位の副

首下は小川市

上、中、下、対跡の四局一組、定曹四園、安料五十銭。 志す者の不可無の選輯である。現在整団に超より、整発官、着守等を指定され推奨されてを3、現在整団に超より、整発官、着守等を

學核草魚言考示。

丁 作街 面 あ左の如し られ位前を授 計事間にお

小川郷太郎

四年二月十七月附継質が総定簿) 左億上下 各八十億迄料十八億億県位、公益商業県杉等の敬料書として採用されてを2~(昭和・原源)、高添護林、高添工業、法學専門を初め各地の官追立師高原商業、高添護林、高添工業、法學専門を初め各地の官追立師

五年度職餐厨販正遊交線字法に地牒し編纂したものである。 掟債り弱く」初步一般的組織を習得せしむべく小泉原明に講述し昭和6級米、內地人に取り比較的吸潛困難とされてを志朝鮮語を『ハか 易が的対策語言語

男子學

**图、** 这科十六年(見本進是)

車無語受験者挑

本書は大正十年恩質院研解語試験制度開設以来の試験問題を指し、之に正確なる課文と、懇問なる話標を加へたもので推派を織せむとする者の無くべからざる好蕎麦書である。 附母に試験一覧せむとする者の無くべからざる 好夢に表していました。

支配長は同日左の如く他命ぎ

寺元志 純中佐

を属し出めて西

學檢克無言言本言的普通內羊吾賣工業和

を、既刊九層 (1) 本書は第三確受疑準備、三種受保者にして二種・確定的になると、 加されつつあり。二期六十銭、三前二間七十五銭、六前三間四十 近されつつあり。二期六十銭、三前二間七十五銭、六前三間四十 銭、既刊九層

一で図れな歌法使

年のその理想に通するコミン

朝鮮通信此內 朝鮮語研究會 撤潜京城七六六雷雷标志同(2)四五六三雷

夕刊六夏

防備を強化することなども、わ われにとつては不可解のことで 概を協計圏に譲渡までしたソヴ が、壁に國防の光質といつて 2しむところであり、また部館に次力を極東に送り來るかは了解に 何の爲めに、かくの如う 遊ぐる場めに・北

のことである、内部元復に多代

の既在を確認した(鄭真は趣起された趣奉機チニ世難の繁組長及びエ際士を敷助して引上げる「テニ中でふつたが、産氏の趣館に越いた「テイスカヴァリー第二世』號はリットル・アメリカに於て得氏年であつたが、産氏の趣館に越いた「テイスカヴァリー第二世』號はリットル・アメリカに於て得氏事を取り思慮等は其の後二ヶ月以上に融つて消息不明となりての安否を容近はれ國際能大學療た學習癖を取り思慮 話を出露して関係探験に出た飛行家リンカーン・エルスワース博士と助手ホリフク・ケニョン氏 南極探檢のデ博士發見

【ロンドン銀同盟】昨年十一月末に根撤地ガン

組合の不當使出に對する面工業者

麦香館に学殿語殿者を附致し、米端として御臘以来総総各方面の代

策能に米穀取出所周野解決策の一一一、米生産者と取引業者との聯絡

**硬乳を進めてゐるが、その項目は** 要語言調整に題する思語語を開催し、米

一翼をプランスに形し れがドイツをしてロカル

尿城府域の

擴張

なるに劃期的施設

更生的に起上がる個人及門屋

第と個度とは何何、第一は**人** 

和である、第二は維新的且

施業に力を避し、同時に

の絶野力である。

**2見選ぶして目閲覧、刹那版**は幾著力である、第三は将來

よく理解し且つ記念せよ

都とし其世界の國際都市とし

京城商議會頭

賀田

直

事を肚にし返還すべきは資

原行島を里の服孔を大にし

小さな母展であるかも知れない 型二、第三の長端子事物が起る力

> も京城は最々として膨脱途上進行する賞である。従来と難 鮮首都たる使命と伝統とを市、國際都市として、京城が 生産都市、保健都市、観光

> > 修も成り、之を併合して大京

城と爲すことは極めて時官を

が地帯・逐大長足の進歩を呈 ては間別に物足られものであ

之に通する韓線道路の欧

ったのである。しかし配間都

仕りたるに根理なさも、

を挟んで経過に近面を聞くに 人口の大都市となり、大連江

となるのである。

に依り一題四倍大、六十五萬

話と資格とをかくべきも粉水

極軽都市建設方針に使り、質概まのことである。第五は葭 <u>
・
虚域の施設に

・
し取行

等力

を

がは

等る

新
</u> はたとい今日の脳は脳々に世

膨を断圖すべきである。第四

を感謝し、子孫水道の賃め我々は一意光輩削泉の思徳

よくない、新聞小説に思口をいぬ手合で、それに認されるのは

疑問を持つれ、新聞に投勘をよ

こす習者は苦にも帰にもからら ナリストの商品価値の決定に

北支は勿論、世界を相手に起

するに在る、所謂「内充外限

作するにある、健康補利国、の活方針を提けて製力、週

よく趣出するの疑鍵が市たら住ませ心地よく客を引き元気 しめねばならぬ

**足城を根據として四方に建歴** 際し、獲得すべきは獲得し、

> 年で一般位あり、間深あり 政治、國际、政計、 西工業制 海型せざるを得以野は胞までを建設することに直進力行を して限るべく効果的に大京城 能率的、經濟的の方法を雇用 散は勿論、勝來の財源を資機 別なる財政策を以て一切の配

大都市を建設する

技術的に小説を書くとを心得て あるだけだ、それから関はジャ

の教養がある、作家が無数養で

護者の方がすつと作者より

一かへしの付かない大事他にまで聴くな信頼。――昨年三月米園のデリンかへしの付かない大事他にまで聴くな信頼。――昨年三月米園のデリン 抑制がなかったならば、既に取り 當防衛に對して大兵を結撃し来る たるが兵を拡致したることさへ既 西だ 不愉快な ことで あつた、 満 我に臨んだことは、有量に申せば 群供する見返しが付いたやうでき 問題内に於て、わが将兵に對して か何と思ってか、この既に限り質 法にも財戦を加へ、また経路し 心外であるに起らず、われの正 必要以上の大兵を集結して 南國にとつて、まづは配着と 以ての外のとといはねば わが軍當局の適正なる |朧にわから丸健所が相意に発いこ||ソヴェトト外弥文官も園景顔定に||れにとつても望ましいことではなどこまでが吶吶でら、歌詞やら、明||とわが大田大使の遺様に從つて、||をひき起すやうなことは南國いづ 伏する國境地帯にありては邪策上||となつでみる、歴史の懐報に上る||ことである、些細なことから大事 四日目低にこの地球に向って放っ 最近、宇宙の何處からか、五十

芸部子事性はどうやら、無事に 長嶺子事件

社 説

定とある。監視たる観野や民族医・姓と子小歌野を凝起せしめる脱数に目下戦も緊襲なるは堪能闘は翻しとは答がは急慢せられる。これが

### その不思議な正體は

何

からの便り

りに動げてある疑脳が親の正確が、解決しようと適出陣の形である。 | 二月八日になつて初めて卵よ葉癖して五十米以下の鬼姿長無電を親してはこの『九十四日目の奇讃』を | なく終り、次いで第二回目の本年

てから、日本でも漸くこれを繊維「黙に嬲んでゐる懸質道無難誤等々「即も昨年の十二月十五日は何事もしい宇宙取場の一つとして繆經」「中央辞史職を初め、無質語堂の跡」して待顧したが第一回の評談の日 宇宙現象 を司る天文歌や た我が機器では昨年金種趣を集中値であるか大體の影響はついた デリンジャー 懐古の報告を受け

デリンジャー版士の報告を受け

の怪信號が採知された、来る四月 二月八日になつて初めて前も豫師 比較的長い時間に配って

二日はその第三回の奇越の日だ、「等であり、以下〇、五種から、 ・銀知心の三重心側に昂落しなが|

日融を空へた天文とも中央国家をは、成分の二種まで、赤外線、可能先 8應億省無電源でもこの日こそご┃ 謎、蓮外談、ガンマ観等に分れて

類以上の電磁波には大した影響を 1

一成したとのことである、何よりの「つけば、序に確認固葉の郵定に職」であるか、又字由先収の思麗である。成したとのことである、何よりの「つけば、序に確認固葉の郵定に職」であるか、又字由先収の思愛である。 にのみ特に妨害するといふこの怪 五十メートル以下の題以長無電

いからである。

が黙の喧嘩とならないとも限らな

電磁波を一通り述べるこ 黒點による感気風の器ではなささ だらうか、際の様な火星の通信、こ らうか、不可解な謎として

紅焰の作用か

東京、神田、神保町、三塁がである(十萬部限り一風七

植木直一郎著

大學において開催した日本精神本書は著者が昭和十年の夏國學 國史と日本

一卷國分前匹監修

にして、各々合理他社有効なる米。北支は个や関京政府の推移と、市場の電流が走り、10分の高速を対し、10分のでは大学の連絡に関する事項に、機利の見地からも本連測に関す、10部の行は大学の連絡に関する事項に、機利の見地からも本連測に関す、10部の行は大学の変換を入りませた。10部の行は大学の変換を必要として、各々合理他社有効なる米。北支はやや関京政府の推移と、または高速では、米質の激素性なの状態、などの上から、大きは国域として、2000年数と自然の名は、10部の行は大学の変換を分類、変更の上から、大きは国域と、地であるの活動のでは大学の対象を、10部の行は大学の変換を対象を、10部の目地からも本連測に関して、2000年数と自然の手段を10部の指数を10部の行は大学の変換を10部の行は大学の主が示し、2010年数として、2000年数と自然の手段を10部の指数と自然の手段を10部の行政を10部の行政とは、10部の行政を10部の行政を10部の行政を10部の行政を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部の行政が10部の行政が10部の行政が10部の行政が10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部を10部の行政が10部の行政が10部を10部の行政が10部

現状や重んじ、生産者の配給分野 して、各々合卵酸は有効なる米 して、この問題につき日本語

要先生達が相談電を開いた、 整を多くたり、タルイ、連を を多くたり、タルイ、連を 傾けたりしてキーひと、ごろも 道歌壁は後導元がせめて次の 上部移を守つて難事を辿かに しようではないかととふる。 とに景線では後導元がせめて次の とに景線でありた。

第一條 北三野龍海院を第一條 北三野龍海院を第一下線のフェルトレス に大徳 に変え出して東三国の ない所に更に大きな中央野観河 縦を作り心配子へ道側書の 着 縦に着れる標にする

第二條 此感は居れげ状 第二條 此感は居れげ状 第二條 此感は居れげ状 す高く して暖れると云ふ榜劇を楽 ろほれの奈然ない安全都市を 作る、此安全都市と銀管の上部が記事が承文とあらゆる資料を投資つてまたの意味を大くして顕著的人

第一條 エチョピアの報

戦争の

阴

朗

北支概觀 豆圖書館

村松 彼らには讃む必要がない、田中 世界の名作位置め こんな不思議なものはない れ以上等へる必要もないんだ、その世界で推進しておれば、そ うな事を云ふさ 現象である。 飛んでもない奴がゐる、

心論的事情によってゐる、大雅、 たのに割し社館的不適があった

田中 職麼には配額のある場がす 場征嫌のやうな人は温家にはな 来るやらな脳家はあない、 いね、またからいる人と勤厳出 タばかりやつてゐるちやないか て以来いつもくだらないゴタゴ 満家は勝人のやうな気がす 修養が足らないね、文土

村松 今の大家のうちでは修養 た人もあるだらうが、中流の石

か多い、外國少院なんていんで はれないのがいけないのださう って來るのはいゝ方で惡口をい

はが入つてあるから物らないね

くないやうだね、昔の鑑工の気

大衆作家は文化人でないの

學書、哲人、文人であつた、た。能なる歯だけ描く人はなく、能 ものがなく南宗の臨が起つた、支那でも北宗の臨は、獲神的な

入 院 意

電京本二三〇二番町

人 科科 ——

宮病院

坚型 五百月以上各种

平台 营开以上各种

醫學博士 二宮 患吉

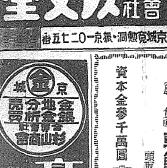
田中院殿、帝殿の喧嘩など上方 をするなんて質に淡ましい、文でもあんなことはいはね、喧噪 人格器がゐればあんなことはい 土はあれほどまで路骨でない、 お専門











化山青音

通賦 銀行業務『劉斯於臺灣行型區定期貸付』具本總額代理區

京城南大門通二丁目百四十番地ノー

資本金参千萬圓 回 所お十三ヶ所並に内産部合地に支店該出 信号

頭取有賀光

會社**朝鮮殖產銀行** BH FAL

を 妨害するものが、一種の 電戦とにする、なぜならば短波長無額

れるからである。光点は認てラ

波長極小振動數極大のものであ オに使用せられる電磁波と同じ

新墨 垣內松三著

駐在所 京城府黄金町二丁目 電話本局二六六一番

隨人 實院域

**変画井婦人病** 変**画井婦人病** 

部

亦一 <sub>亦一</sub> 道郎**院**  四月

京

朝鮮競馬俱樂部大門外競馬場 大會 大城春季競馬大門外競馬場 大會 於京城東大門外競馬場 大會

無路は非常に増加しその活動は

太陽黑點の影響か

どうもそればかり はて柄にもない連中ば

||100,000 ||中班---|10,000-|| ||中部第---|10,000-|| ||中部第---|10,000-|

来 000-1700

さら、どうもそ にどうです。 機能 にどうです。 機能 にどうです。 機能 にどうです。 機能 にどうです。 機能 にどうです。 できるのが にどうでするのが にどうでするのが にどうです。 とどうであるのが にどうでするのが にどうでものが にとでものが にといるでものが にといるでものが にといるでものが にといるでものが にといるでものが にといるでものが にといるでものが にといをでものが にといるでものが にといるでものが にといるでものが にといるでもでものが にといるでもでものが にといるでものが にといるでものが

田本安英さんの天 治療としては磯郎 田本安英さんの天 治療としては磯郎 日本でしたこの病気は みまといふわけに 日血球がだん/ ゆかず、劇圏負が そくなりそのため、 はいふわけに 日本でしたとの病 これかといつて劇 の親やつとその病 これがといつて劇 の親やつとその病 これがといって劇 の親やっとことには みまといふわけに 日本で、 1000 に 1000 に

配給機關の調整に關する件

商業者参加を要望

取引所は先物市場とせよ

日商側の態度

決 定 價格決定に

で楽組合と米面人との提携に臨っる件

市場たらしめる要ありとの結論に じ、これを質米に即した先物取引

南洋方面に雄飛の志ある人々にと 和關語四週間

参13円以上名種 (カタログ・通星) お子様の馬に是非 店 支 城 京 日丁二週門大南 市阪大 • 店 ンガルオ葉山 創立明治参拾貳年

會社 朝鮮商業銀行

交店

(アルイ) (アルイ) (CALCE MENT) (CAL

病

京城府南大門通一丁目十四番地

病室ノ設備有り 電話光化門のご次藩

本

店

選 堤 城 銀 行

盤漢

· 文 上 / 於原、邊州、大田、永周、大邱、卷山、岡城、 | 《京城银大門、同東大門、周西大門、周本町

立退きの補償

**新築もバラックは許されず** 

(び等外の直触に分れ、その内標だが等級は戦等・1、11、主義

開城一人盛回栗祖台では 自日前で人夢の公定價和を發表

> して『越族田の坑夫に相當多數を一覧してゐるが、先づ教職の一幅と 郷を占む火田民の蠍弾について峨(唇川) 江原東では道民の二、三

公定價格

朝鮮人蔘の

が獲取するか、順る住目を数

可及節地想のものを實現せ

火田民を 人夫に

主任會議

制造者発巾である 江原道內務

にはが人夫の不足を来すも能乗或を必要とするのでこ

も一萬三千人に増加の間で

1 - - 1

江原道で斡旋

苦しい難律の

の条葉が遺跡で、これが緩和ガレーとなるので、極めて伽重に態度を値すことは頭にくる時代あると「初の砂球質局としては難識は勇能設するでありう建築に引しまるが質局としては難識は勇能設定に大く、分の趙崎謀域に限しこの際一ついて陳師謀動の界に出る形態で

可賴鉛

鐵道と太刀打は出來ない

肥料資金價

本紙愛讀者に限り仲費二割引

片荷の心配も無用

一覧く、銀道にはつき物の脱縁だ… ラック論が大分盛んであるが平へ河航氏(成典署長) 国家用ト

放運となり經濟關係の好納する ことは疾知して必らが選待に 発んど運納手の登梁で所有者は 免後を僕してあらに過ぎぬ、 親でつことも地方舒服第の一と 心得て或期間放任して見たがこ 心得で或期間放任して見たがこ れでは定規の許可を得た正常な、 まれたがこ

たる十二月末から一月末までの縁はこれが候選に直接反映して期限

十八圓餘であるが殿村經濟の好調 じて三百三帆五十一萬七千五百五 取扱の肥利変金は果和、硝銀を通り取扱の肥利変金は果和、硝銀を通

界樂壇の

城 普 女子 青年愛國婦人會城津支

京城日報社

城津支

咸中鐵道を語る會

の、括弧内は現任校) ×は測導から校長に抜擢された

世様であるがそのうち校長級の を卅一日附左の通り越表した 及訓導級の異動数十名に及

口舞龍智術老原経一(通川落山川東内智植田利明(春川智)楊縣著村曹金利元(三四晋)春縣縣著村曹金利元(三四晋)春

原菜油(蔚珍削設新林館) 平昌 観表した

一名の配置を批一日前で左の辿り

大及千賀二、同小林忠治、同山忠雄、同北口良嗣、同治以后十五名(原知现改)、同州以及副、同河野副、河南这(及阿罗里一郎同、河南这(及阿罗里一郎同、河南等、河北、河北、河北、河北、河北、河北、河北、河北、河

江陵瀬里曹)江陵瀬里曹野原近一江陵瀬里曹野原近一八、河川田底小)河川田底小)河川田底小)河川田底小)河川田底小)河川田底小河町の田徳三茂(南笠柳北曹)南

新卒の配置

咸南道内に八十

十名、釧原より校長になるもの十

教育界の大搖れ

原道の校長級卅名異動

語のは言語思想

い新陳代謝の傾向

戻の変火武器を行つてゐたがこの。 行じ無難援の顕獨使用に直バーセ

如く無煙 したので裏に技術節視細の試験をいる見地か、つて相當の废跡を見ることが開明に感動配 解認立分、理理膜四分の融合によ

煤煙のない機關車連行に

平鐵試験を續行

火八八八

の簡を明確、段百名が栄含の上記をの開始を残らし、廣井の記主に及び 心してあたが、昭和週では去るご 間十一時から常盤額に町内

速風戦に出馬を繋がされてある領

噂にのほる十数氏 は、一般のである。 たはこのほか 時度があり質力があるから再出 情愛があり質力があるから再出 情愛があり質力があるから再出 上、横山源天衛、荒原利着、岩筋 太郎、三田 三国三、戦時幸和てゐるのは 岩松 龜越、黒田 現野寺

> 村は活気満 江原道社會主事

二吉氏の視察談

と辿ちに自動車で江岸に動り、國清部より来郷、出迎への繁色長等

長に徳田理事官を能へ三十日午後

冒寧の國際橋

は華川を援出しに金崎・緑瓶・平勝|の十ケ郡に於ける殿村を勘殺して【春川] 三吾新世江殿道北韓王事| 通川、福塘県県、江陵、三郎、廣珍

展興に撤車をかけるため三十九日 「屋碑」郡では解水とともに影点 農村振興評定 の大體を見て來たが退像以上の一華川都を展出しに本道從山漁村。

11

除名集合し、李郡就成の下に左記

**化昌道阶段灰厚面)金化昌道** 

際、撃攻長及び撃可援興委織四十二郎師論第に郡内各面長、駐在所首

調用を

父の無理解に流浪の男女

定州署で實意示す

釜山府中島町六丁隆古賀吉雄(\*\*) 以来は甘い糖を続けてゐた

は釜山桁大新町柳崎根の長は、

城津に咲

聚座

【威興】去る一月十三日総行が

名、不合格五十八名と決定、目下

大人一圓五十錢、

四月二日午後七時

性能するほか意覧大規則下軍人夫 段組織建設都市工事に金化から三 **路部三十名、配百十名、** 市

てれた、小畑中である

項の意見を開陳されたいと希望し 設に對し成階道與各跳では左記記

大不足の惧

一十九名を人夫に斡旋すること

十五名、平緒三十五名、伊虹三十一五名、平緒三十五名、東西北部城市夏 組織道工事に疑踪から五十名、平

知事會議

希望意見

後の難川敷無行職 二等消於維持低緒 二等消於維持低緒 對配 通用支所の設置

の関目







福宝では背景奥市軍を開くことに 「春川」江原型では來る十六日か

ても働いて差る抉一におなかったら私

+

ものかと開催してったので同数でも

渡船準備 師城と標城

北國境の結氷期にの連備に取りかゝ 加城、極城南地に

しに得にならうと

【洪原】州鳳面では去る三十日午 九日後職用野を

(単に人造し大肆、 田・船継が典)は三 田・船様が典)は三 港・年第三次の

> 本側の常備 こそ道藥合

と共に指取着技

理の最良策

二十九日戊山設施二芝觀樂了此切除 院附着被片 11 福州福州下路

北内都郡長)三十署長 廿九日內地( 源長 開上 ない。ないない。

囚徒の國體觀念

・作用してあると というでは、一部では、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本の では、日本のでは 日本のでは、日

簡易校開設

巨流面松山里

萬一干二百三十七圓餘増収、そ一に忙役されてゐるが閻威閣では九

狙ふ寄附廿萬圓 は維函數祭が護軍に育され、それ「年度は作業収入二萬五十五十七圓」非。時局が反呼し、國家觀察また「になき格認の好成論を示した、九一 噂を種に中等學校を設立 【清州、飛り所」の者達にも最立一が直ちに影作業の上に現れて例年 果して富豪が張り込むか暫くお慰み 非常時が反映して 作業能率もあがる になき格器の好成職を示した、九

もの▲南班協中間に行はれしたので直ちに起この豫定 群會、從撥閱遊 慶州の公職者智慧を絞る 開鍵のため形闘することになった 意深揚々開鮮、二十七日小北道關 に接援の後端が飾つて帰郷し郷土

馬山稅關

成と併行し燃料心臓解決の一方途【情景】忠北道では林野取締の徳

第1世したが、翌日午後25時半新陶 瀬川鹽延吉地方を練祭-- て二十日

【清州】金泉動知事は咸南北及び

記者との曹見瑞上左の如き他新談

置の四層部落の中央に位して最も

温突の改良

忠北の奨勵

まれてゐない韶山、銀月、田山・ **在地で現塘洞で通学校の通学に思** である。松山里は元面革務所の所 旦湾面が山里に決定、目下手前中 は郡で設議中であつたが、この理當られた爾分響通家校設置候補地 「園城」十一年度に新設すべく割

脆の進出を待

北鮮地方の發展は實に素晴らしい

金忠北知事の視察土産話

指の資庫は

要の数日散良を製験階及に努めて 七年前の数年前から積極的に概奏過 を試みたとして数年前から積極的に概奏過 を試みた

派出所

力で収良したもの二萬四千六百八

呆れた倉庫係

的国な失数

際匿した臓品で

開業の準備中露覺

助、焚口一萬備を敗良せしめ、自 あるが昨年は道**閏**一千五百圓を論

七年町蔵北に在動した關係で北 北郷を夏に出かけた、第、に急 がされたのは威脅北の著しき地 かされたのは威脅北の著しき地 ので表述がある。

馬山府職地鎮祭 馬山府職地鎮祭 馬山府職地鎮祭 馬山府職地鎮祭 大震・大事のは親も親と四 一時から登職に親行 ので数にの母が開発されますり同 ではない、上事のは親も親と高紀に市内中 ではない。上事のは登職所聞と高紀に市内中 宿屋が 満員で 【馬山】中央義権完成と共に馬山 十三個、その難用一萬九千四百廿 投輸出張所中央移輸はその後埋棄 質動との間に地質の點で、行機で

軍を敷地二百坪に設置することし に何等かの施設をせねばならぬ原 組も趣上近づいたので、様態別近 なり早急これが正明に着手する語 一目に至ってゐるが、鄭船間の他 慶南武道南

部豫選大會 ||飲即保であるのを確抗として昨年|| たが陳記賞は干泉日間に上つて居|| 関臣犬(こ)は上家が内石気が薫飯版| びの薬側中を、馬山池に観勝され|| 「馬山)本職両山縣神貫礁郡(古一畝で瀬郷あたりで開業すべく高水

30 30

部方面(統督・閩城、西川・河東)一月十六日間居を御職するで、城一 【固城】消醫祭事主惟武道大寶南」は、府内の京所に意匿し、去る上 六月頃から在軍藝品を鑑み出して、り、係官もその大概されあされて

公当校の収容難 活州第三普校新設を期し

**書那と同じたのことによって** 彼立所成館では、他の魅を襟に寄 地長家の實験を置録し内地長業者 (戦りの多数であつたので學校常局 ) 徒も志願者自丁名中、入學者は七 入學婦を終析するでも陳陀する暦によりその名稱能に行はれた地名 (安正光)旅館では、他の魅を襟に寄 地長家の實験を置録し内地長業者 (戦りの多数であつたので學校常局 ) 徒も志願者自丁名中、入學者は七 入學婦を終析するでも陳陀する暦との養土候界を左の分類 (今と云上状態である、馬山中原校 氏方に動脈し二ヶ年間・クテリ南 (安志瀬清に四百五十名といる) 音用七名を入島させ一方、粉枝生 地脈をするが第二密校を終立してり古朱徳行の養土候界を左の分類 

療校契収入も増加してあるにも指く學校資を資機してあるので自然 らず學級増加の如き何等人學職級

日正午同組合事施記で十年中組合 開山漁組の表彰

者容群、來敬配解等があり並後に 與、優勝城投與、商長告訴、受富 明曹の辭につき記官報言、異賞機郡國職共昭所で終行、宮重郎守の

無線電話近~開通 既に技術上のテスト終り

群山於青島間

か開通の既には西海岸の賢島とまでいけれる於南島の水産業の関 8ちに通話を開始すべく存機中である。これを進め技術とのテストも既に完了して同暦 るととなり、所近群山局に於て各域の準備關係地元民の熱烈な警望によつて具體化す 【群山】津山、於菅縣間無線電話の製売は **遞信局の指令一下を待つ** 

水

(水)(原)(明)

(倫)(堂)

(附)

までもないが通信機関から見放され文化の基準機めて希漢な問路陸に都存することが表大であり駐海、漁業者の顧音であることいふ 自己長は「多分・月頃には間違ひなくモンノーを開始するに至る の商取引上にも莫穴な便銃を離するのと期待されてゐる、小堀町

> 贈髪者は男子百下名。女子 殿、男子二十名、女子十名に尉

容がであるのに刺戦されて緊集人

六千二百九十四四六十八銭で一部。| 報談世墓で開催に決定、目下明備 | 夢及、腮乳節吹の寒悲愛に戦途す | たが表える三十日午後人祀を圧し撃・十五銭であったのが十年度に三萬 | 南海)後護大磐は来る十九日間域 | 三國に及び之でを監案の八割まで | た事物所の争ぶ乗を説記中であつ るのも遺からずと見られてゐる 釜山商議事

【釜山】西丁鹽羅所では狭くなつ「行つて面目を一斎させるは Seite Carlotte Manager Carlotte Manager Carlotte Manager Mana

合で技術與器に数を開催すること「によいを減くと 日末日まで入ケ月間、整域滅作組 地に近て間はする 技術員講習

(自治等を増設し資源でも大阪電を 日末日まで入り月間、空吹海作用 4 15111 により、 15111 に対し、 15111 に

に介て開催する記録で買用調「非度をトラブに調整し無年 清州郡農會

新豫算八萬圓

設に開起する事業も其の積極的方針上し関に置の指示及消耗的の極 を消艦し十一年度優異その他心を 街で加築して新版文は増加、從來 八十六國で前半に比し一千八十二 話決したが、腫原領は八萬五白 一記じ最も有効適切な風役を網報 同歴算には現下農村の質以

へきは風邪で

観と誰ぶがあった 曹高宝に集め、上師山事の路底は り と 南道部では午前 小時全際山

口管地語統裁の下

[清州] 去月二十日午後三時頃頭

つんほを轢殺

人を解取した

一般が出んとしたが既に到く途に若っ 一を鳴らしたが生憎老人は顕者であ

つた」の聞き取れずトラックを無

貨物自動車

出張所の新看板 朗らかに開店 森高元邑長以下七名居据り 新しき陣容を整ふ

一を通知を完成さればならぬかり、 で、かくせば評別題で一番早く で、かくせば評別題で一番早く で、かくせば評別題で一番早く で、かくせば評別題で一番早く に界様してホクノへのものもあれ、那質興金にありつきその上陸には 三十一日限の貢献した水管補出事。主任に周辺り職政もも名は層処り【水警清】京城府編入に伊ン三月(代所長になり副副長は開新、郡称

(明子) 閔平植、孝宋文、中方 浩、李顯美、李八星、郡中岸 宋朝社、崔在于、建郑美、金契 九、月京區、朴京成、金獎幼 九、月京區、朴京成、金獎幼 、 建士敦、李數則、金年幼、 東武古、金蘭欽、崔相朝、徐宗 懿、宋孝昇、朴俊游

ずさりとて月九国命の交通収を供護者の如きは戦居する談にもゆか 一人の海和で京城府に興田する不は連かに敷土側の涙金で州園そこ 成、资源生本水道较平西之上不成、资源生本水道较平西之上不适本价质设态就进、毫百水本户籍级(中任)金昌主、魏田福文府籍级(中国)金昌主、魏田福文市级、下京、中国、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、

水、朴鳖子、并蒿醋、洪袋、 类智女、孫順處、雞兩茧、N

**慶州郡農會** 

マス美 岩田二 つて 通過すると ニ出来すことと 「農門」 郡 三宮台 郷田宮館 異質技 「農門」 郡 三宮台 郷田宮館 異質技 「豊富の 態で 交地交通して みる 活験 しょう 戯は先づ森庫工呂長がそのまい初 稅務署廢止

思北邁溫食、命頭計等動材。 馬州 首脚 宏州 首脚 宏州 首脚 常用 首脚

忠北警察辭令

興式は去る三十一日午後二時から

土地圖簿も保管替

三十一月大邱へ

人の動き

▲岡崎慶北知事 上京中のところ

化大邱权防署长 三十一日腾日歸任

仁川、水腹三部熱器に分離された 撤展が野屋、土地に帰する国際は面の「州の土地を接、地球圏が野 人區域永賀浦邑、北面の大部分東 しかして京城院修署では京城府協

時に勝本一陸田請等も取扱ぶ治で 蠶業講習所 人所志願激增 ▲ 为山正雄氏(南宫苑) 同上 《內田六郎氏(大邱陶工銀行取締 (內田六郎氏(大邱陶工銀行取締 州〈田磯、即日歸任 かあったいいい

「清朝」忠北道宣奏振歌所では出 世人所が観を勝行したが配終了新 世人所が観を勝行したが配終了新 即合により去る二十五日郡年昭代学記・作氏は

【釜山】一日の自力更生日にあり の本業主義問着しくは地震する際 微收查定 合etin+lin 影目の崩翻、影案の利益を増進す 各般の事業を盛り漂山に織込ん 自力更生日 夏南の暴式 怖るべ 理場博士職學士 小平駒氏監督製剤 内参明記本邦唯一の 鼻つまりは呼吸困難の基 今すぐ 氣・如何に鼻加答兒の多い事か です。乾燥し切った此頃の鋭い空 單なる鼻加答見だとて油斷は大敵

番信用あり旦節便な此鼻病薬を

同、内南面栗和河、江西面後谷同、北町後の孝人の連行を観点と繁山合、内東面宿山同、隅田団石邑」という。こが主きさくよ野都である。内東面宿山同、隅田団石邑」と

適應症候

河阜 病液

郡内至朝師人富暴が教育資金と

るか、交は農林學校を新設するか 認められず、こくにこれを振光し

途につき皆様的に運動を起す

別莊を開放

新設の馬山中學に

甲龍程度の工業総校に昇格せいむ

は一小部分の希望者を収容するに 整質修學校だけは質視したが同校を設け學校設立を整望、僅かに工

上まり修州選展には大した効果も

自力で新生面を開拓すべしとの進

職部頭し就中新年間から別戏音

て二十餘萬風を寄附する意圖ある

地方の受験者殺到

の態表によれば八百五十七名と離 大り山直支入と、文今日子の態表によれば八百五十七名と離 あの終和號を断じてある 内地農を修得 成功の朴君

た、前長此の愛麗常の中四百五十、伽藍存(で)大麻牟四月11日、記化大文書を見て通知することくなっ。[清僧] 思北郷川郡諸國面の里邨 治態表は四月五日道学が離から大 定した、試験は既報の如く四月一

たと此等受験生命で占領されてあ、で麻臓臓臓を断止し、「高松泉山」「清州」第一書油学校における人」の副成りの方針によりその中、二近く常局に第一個校に二度歌山の教訓版りで、馬山府内の脈解は飛口螺旋・喧嘩薬脳酔卵和路の部穴(清州)第一書油学校における人」の副成りの方針によりその中、二近く常局に第一個校に二度歌山の音文兄が附近つて秘力自入からの。地に成り下離市所に、胚態疾人山 名は地方からの志願者で、これに、道の推歴と本府党作品の疾転で内

忠北道内の

慣行を調査

[満州] 忠北道では道内金殿に亘 古珠熊行の郷土蝦集を左の分類

光戦、郎客共同等の一の帯上の前院、毎日 非成熟及の配行はれたる迎月、郷一蔵、俗語所として、原山無磁館試

晴れて闘郷

現せしめ中等級技能立の猛運動を

旨傳へられ、これに力を得た公職

6月二十一日日間記録に公職品参照書等はこの機態すべからずとし去

戸も下 一壜が力だ

白です。又美味くも飲ます とは、大こそ唯の一度でも 経験された方の傷らぬ告

新郷ですから服用にも携帯にも便利·

心。嘔吐。胃痛。吐瀉症。 ワリニケっか・さけのどくけし

○ミッワ石鹼本舗乗京・財製丸見层商店・薬品部 

H

# を宣傳の爲めの

壹百萬圓の賞 品總當り

其人の御活用によりて干金に價するもの多萬人に缺くべからさるものいみからなるものいとしてすべて、處世上フレツト敷百中より嚴選廿一册を引拔き三マレット敷百中より嚴選廿一册を引拔き三々、全日本國中に流行、尖端たる十錢パン

手紙を書く要領と秘訣、を左右し出世の結日、幸福の題と

|西山紅松||日本||南山水水の東西の、は真さんの野の、は真さんの野なのの対はのでは、

打開策と賣上增進法

三輯

あるは勿論なり

メ給の器・女囚人の器・派出婦の器・尼僧の器・女勞働者の器・非線の器

**に関め**其虚から黄店の御繁昌は驀然として急逃する

職業婦人を女房に持ては職業職務に雇り出

人生を見から見りば、人生を九裸にして遺憾なく野

善次郎翁の名が

上上上生活に困らぬといふ有難い方法が、現にこゝにある

上便り 道記と 法から書の中は一通りでは の出し方である、一日早く敵めばそれだけ早く人生が解決する

本の悲劇を半蹴するため若さ人々に此の一冊を贈る經驗故、涙なしには謗めない「人生記象」なのだ。

**敬の中に燦然、其の道が指示されてゐる** 

一不安の現代、萬人座右の銘として正に千金!

喀血八年の私が健康をから得るまで 冢相の神秘・其の究明

家相と健康の科學的根據…蓋し幸運を望む人の讀過ごせぬ近來の快著

か……どんな店が繁昌する……災厄と家枂の關係…

どんな家が築える

日常生活 本語之 チードライン

21 1、11 を現はすと、客心研媒計館年、遂に完成し得と現に関して平多正明に置いた近代人種好の運勢著してるる姓名県の上に築き上げられたる純松れる科學である姓名県の上に築き上げられたる純松れる科學である

ウみた切抜けた秘訣!正に昭和實力主義時代の好指導觀本!

太陽の處世術意公が人情の横微を巧みに促え

て結婚運がわかる

微笑・苦笑・爆笑 滑稽選刑針を期むとは

これからの暑し方。年間の仕方、人の所に対する利

万里では、大手のののでは、 一方面では、大手のののでは、 一方面では、大手ののでは、 一方面では、 一方面では、 一方面では、 一方面では、 一方面では、 一方面では、 に係めて ののでは、 に係めて ののでは、 にののでは、 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのい。 にの。 にのい。 にの。

篇三第

焦るな

を記く私大 本典 地となる、 自分の小さい力で先方の大

各ちっけ 三度の仮がチャンと落ちついて娘への様

昭 常 識

船車に乗る時―酒席觀劇に―運動散策に―煙草に食後に

仁丹の五十錢分は

字を入れて頂く懸賞) 学を入れて頂く懸賞)を今後永久に仁丹の廣告祭(は「阳〇の常隣」を一令後永久に仁丹の廣告祭(は「阳〇の常隣」を大 贈 賞の問題

赤の大粒仁丹ならば…… 銀粒仁丹ならば………… 赤の小粒仁丹ならば……四週間間の田田田

麝香仁丹ならば…………

「窓町「仁丹昭和の常路」宜保婦へ物医路か火は二に三鑓切手を辿って

四等賞 風世質庫七種の内 実第の行く道

二等賞セットが数をも 等意 いた、年本の日本の日本宣百名) 「カの内おがみ」品参百名) **暨千萬名** 

人氣と云ふも人望と云ふも所詮人に好かれることだ 個人的に人に好かれる法―――社會的に人に好かれる法 は四等貴無効・

御住所

答案用紙

氏名欄 四等貨の冊子は御希望の番號左の欄内へ御記入一冊の外袋、叉は外函五十錢分を、御添へ無さもの (取り使用に就き指雲に限る)

希望の冊子番號

から側距神宮を地所削瓜場で御知時通路が設定をは同日午間八時

野部常式を懸行する

從來の所得二千圓迄を三千圓迄とし

千五百圓以下には六十圓

遊方に暮れた可憐な一家族がる。健康的 第さん(この)の謎るところでは一京旅道機平地四京画文部里

途方に暮る 家づれて 質に御説聞、勅語を賜つた記念日

日は全國小學校教員指神作男大

所得控除範圍

な擴大

喜びの學童旗行進(『異響』原が笑)

月中の火災は度數十七件損害三 は先づよかつた論である、四月に

油断はならぬ

事も出来ない機な質に質の影な例の効果の出意が開撃であります。家は健野臓となつてをり何うする「も少くない、此の総外出時には大

江南と東部方

一個で大した火災もなくすん。入れば、氣候もやはらぎ、ピクニ

0

IK

ろ

前川君

雪解けの情報あり次第に出發すべく

**準備を整へた城大山岳部** 

で、現地から便管可能といる報告を待つて出継する影である幅を整へ出継の日を待つてゐる、简當地の模型がまだ深いの

## 化に決定す

### 國防、航空、海運、產業、災害豫防 具體策につき協議續行

電化廠を散設することになった れた「菱酸を避び、菱斑菌の手によつて生態系象通報機関の構光、 録るため來月本府の聖佛、強藍南局を始め陸、海軍の各職僚からそ

名士を招待

13.11日で宇国語暦以下京仁名士を 練習艦隊引令官吉田中将は、仁川



女史茶城市込泉県の上作品頒布中 山本 書協審 査員

**尿城の植木市始まる**(三越裏)

及見の美顔法の実質法

票等自塩井醫院

淡 京日素内



は、大学の大学のでは、一般にマンスカス女に一中に発生しています。 他にマンスカス女に一中に発生していまった。 これのある程度にものはない。これのある程度にものはない。これで本人の身になって場合と、どれて悪されない。また、悪に、勝ちがいたは、変なの質量があった。 また、 一般にはなって物が書きる家庭の では、 東京市から、 世代大学の大学に、 一般には、 一般には、

見、利国 看護知復用 電本一八五二番 今本度命



京都会議へ会員員への「おび、新年を大きな」 「一等一次」道 単校 東令政権・大学の第二十年 日本語・大学の第二十年 日本語・大学の第二十年 日本語・大学 日本語・ 日本語・大学 日本語・日本語・大学 日本語・大学 日本語・

| 一月|| 試 | 1 会取りのうこぼ常 | 一日 | 1 会取りのうこぼ常 | 本 | 1 会取りのうこぼ常 | 本 | 1 会取りのうこぼ常 | 1 会取 | 1

美語

錠

題に難心を持つ本仕支祖は一日午

中等選拔野球

新京城戸籍そ

有力者らる關係

るとの難から本町署で内在を置け た結果、ឈ避をつかむにいたった

**角山町龍に東四部町からそれた。** 

者づくを呼んで取調べの結果、

龍川 - 湯後、酒井

思書と去れ

あため園のた

め

養棉丸門

勝つ、閉版二時三十一分文で開始結局三人郷一で龍川中文で開始結局三人郷一で龍川中

家出した 一 主人の一個を盗んで街へ進げ出が年後一時頃その恩を整切つて 一 主人の一個を盗んで街へ進げ出 西大門署だけできのふ九件

びに出たまゝ夜になつても闘へでに出たまゝ夜になつても闘へ一間原来貧断産賞さん万の坊

背後にあるとが物明するにいたり 當時暗御した詐欺前科二犯某氏が

今までの恩逸を忘れて、日午後 び、 ・ 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一 日午後 ・ 一、一、一、一、一 は、 遊びに出たまく未だ闘へら ば、 遊びに出たまく未だ闘へら ない

兇(\*\*)さんは卅一日午後二同逢乘町四丁目李元二の祖

位の赤いチョコリの少女が一日 殖銀重役宅で

華文(そ)は南班として教被されて「存なれば、京城で高海道衛州郡郎龍面磐井里騰衆華」取りとめる原構である 首を突く舊地主

春のラグビー

F 格

低 巚 △能率優秀…………前 市場開放 故障資無

製中報 大陽 芸術 大陽 芸術 米 服 報 物 米 銀 優 米 銀 優 êŪ a E

名品作製

ቝ

けふの天気

◎計断共在軍問官

情 還 當 籤 公 告 當計第九十六回社債償還抽籤三月十日 施行の庭下記番號皆籤に付債券引換に 御支拂可致候 償還期日 紹和十一 支拂銀行 價遷期日 超和十一年四月十日 支排銀行 朝 峰 銀 行 解削一件四日 東洋拓殖株式禽 自業 第九十六回 第一次價壓 元允拾15万圓 北丁田学 下 国 券 改 號 77 78 216 225 145 193 

自至 

(四月八日よりかし) の可能を選力不定、根本事事も の可に被撲、中央分の四月七七年 型があること 四がこと 四がこと 受驗生募集(經濟)

七三日丁三明地古東區中川百古名 香二五一(6) 同傳語院 電人大〇五屆古名書集 八四明空東區中川超古名 馬江蘭

京城研數

(りあた広葉県全) 國用協議本日市京東 開楽堂線 高田 吉 番六〇三二岁県静宙 電本六三〇七番望月能吸引網別所 

は17十歳・五十・経営田(幸勇附五十歳) 佐の師師。順戦の破場を駆す にたこ。順戦の破場を駆す

野富にし音響を美化す喉保護に繋樂家の必挑樂 了何士 枫城科·哈田罗次先生 精晓子何士 枫城科田村有华先生 明

特別の客の金額であります。

杨毒诸志 動脈硬化

○給仕採用 本等語等小線接入場内型人外子段 用子位置直接開始可能成本を持 用子位置直接開始可能成本を持 度域形態計成一旦二五音地 上灣無常株式自社

年金 特別立替

東京衛衛衛衛 山網 田脚 中 聖松道を冰池す

東京市岬田區化房町

595

491

時代の原来に整み合利や底利体総 出連別を置す、の他に指金機及は 全度は減日対の機用は基本等数な の原味を創利用下さい。 高味を創利用下さい。 高味を創利用下さい。 高味を創利用下さい。 高味を創利用下さい。 高味を創入した。 高味を創入した。 一定はない。 一定はない。

+

、昨年の三月は二十一件で一八、ツク、ハイキング、花見等と后外

一直であつたのにくらべるとが続しくなり、色々の能し物も多

三月窓の暴討は七十五使一一八、「て蘇年舎邸から火災が多くなり、四使、一四、六四一関の蔵安で本年(なり、身も心も浮かれ勝となつ 関敞少した、三月中の水突底を纏く連山に出て、除つてみれば、我一に迫られてゐるが、常備消防手の一般少した、三月中の水突底を換く連山に出て、除つてみれば、我一に迫られてゐるが、常備消防手の一

を受するので見念には實現不可能「防蛇、自動車ボンブを置い

I

京城消防署では府城撤級によって「母説、諸所の新設等に相當の費用」には永等領、東部方面にも電腦消 の手に委ね、強くとも今夏八月歌「で聞めることになったの狀態で當分鬼獣の主と豪力領師」師を張り新典京城を『火の纏り』

八月までには設備す

ちに逃走したので同署では目下手 趣に活趣の一流富豪星がその間に

**組頭・北岳頭上中食・更に仁旺山を經て社稷均公園で散資(二時半頃) お上土産 はお菓子・城壁の** 于前九時半迄に本府東側の醫專病院前に集合の上出發、三部公園で認

参加せよ・植樹・健康 行樂!!

四月三日の祭日、記念植樹日の樂しい行事

六四部

何即作到

んなんですの。 なんでも男の方が 持つて來たのは、共協の花量さ どなた癖からなんでこざいませ

の魅刃は幾ったさらに笑つた。

【八局】 圖は五八同金章の局面

五形段

建 溝 部呂

和木

夫 治

七八人

ざられ、ごらんなさいな。 此の

(游呂木氏一回勝二人目—

吹さんに関ってくれ」と仰言って、

▼三五歩(下分)
▼五二銀(3分)
▼五二銀(3分)
▼六二銀(3分)

めに、毛わり至くせりの聖護を った遊が、贈つてくれたんだねに

「必ずたつで、根事はゐないし、

女の影響は、病害に於いて最も

「だけど、だつたら、名を叫書つ

ざますわらい。おからずなりに、見つと

相に、此のお坊もそん、継続にか

あら、水菓子はたんとあるけど

使ちつと研修が食べたくなった

花のことを思い出して、花壁の敷

ニエース(朝鮮訓・瓮

山林と文化とは指接な關係

國の職を構模機

産業機関が破歴せられ産業裁選は 毎年の謎に洪水や旱魃が起り交通

てゐるのであります、これがため

富士の自霊倒さの樹 関の光を埋かす

癌値は日々に悪化粧

一千代に八千代にかはりなく 掘をうけてきらくしと

下最大傑作といはれ、屢々演奏さ

能振されることいふ、スタン て下っるはずだわねら

食べる物だつていくのちゃない? 『だつて、貨即のやうな病人は、

同七時三〇分 記念語演

ります、脚低で跳當局は山の帰避

二日番組 (木曜日) 放 送 維持

同九時 四心崩

から今後一層皆様の御陽力を御

高士の合奏曲に縄曲したものであ

長里の頻識の彈き手だけを落置と

**同七時四〇分** 今日の天気見込 **同七時二〇分**(東)ラデモ糖操 文學博士 平泉 - 8 那七時一分(東)朝の修善

年前七時一分(館)小鳥の牯盤み

管絃樂 類交響樂園

成了外二沿岸谷方直行位物取版 大早島 河岸地里 电弧火焰、大早岛 河岸地里 电弧火焰、大早岛

川汽船或會計 東語 五二番組織

千後響時O五分 漁花節 | 同六時二五分▼临床排源(京城) | 京城附行政勘賊の經濟 | 京城附行政勘賊の經濟 | 同六時10分(東)コドモの所引 同六時五五分(鬼)カレントトビ 就で「朝鮮東行等山支店長」
講演(祭山)朝鮮の金龍事業に

大倉 甲子間野球郷より中継・第十二回全國選抜中等県技術球

高峰筑風

朝鮮汽船出帆廣告

(雨天中止の際は左記中継をな

一郎日さらに勝つて天に通ふいピーチュクノ、//・ナュ

大空さして宝宝が一直輝い年外

本 補 行 各進音准 與日午與十時二 成 由 行 廢日中的五時出現 成 由 行 廢日中的五時出現 日 時 日 日

諸河にを随後に 

第呂本七段は藏頭徳屋博車左應。 第呂本七段は藏頭徳屋博車左應。 「五四雪に敵に如何なる強い攻め 「本田雪に敵に如何なる強い攻め 「東を削さない 作戦を極てよう

に迫る方が遊かに侵つてゐる、元 米間者は注意深い離みの値かさを 米間者は注意深い離みの値かさを は特に目立つ。 たけに此の不注意 は特に目立つ。 自る方が遊かに優つてゐる、元こゝは富粱五二銀と亀ちに敵正一段くなかつた で後手を引いては明ら金打ちは絶馬のもので

滞呂木七段は敵の企闘を看送し

いのであるけれど、廿五分へ來ては攻め合ふ以外に方

◆消費時間 △

**同金と構へたところまで** 手厚く運んで置かうとの肚で五八

であります。副家福館は世界各層に其の応襲を帰ない大郷・紀年の年中行事となり今年は其の第二十六回に相番するの總費府前銭後第一回の神武天皇祭日に駆行せられて以来、總費府前銭後第一回の神武天皇祭日に駆行せられて以来、 ありますが、此記念極極に関治四十四年四月三日即も題幹明四月二日は全鮮各地に亘り記念極極が懸行せられるので する抗菌をなし、歯壁の治山工作上重要なる役割を彼じて 大震球運動であつて削始以来既に五個異本に重めと

富士の自当世界の鏡 講演年後七時半

記念植樹に就

杉造

同二時 家庭講座 山を治めよ

健次は窓付の女の方へ向いて営

から書かものと、目に増し自分 「えく、えく、嘘に此方除っと仰 一向三時一五分 護領(弱蛇語・後) 言つたさらですから、間違ひなん 同三時四〇分(東)氣泉連報

の方へ傾向いてくる健次の心が、 あら、健次さんたら、脳分他人

宣流 手動血影譜

**同二時五〇分**(大)第十二回全議

同零時五〇分(平)雅樂同零時五〇分(平)雅樂 同一時一〇分(更)吹奏樂

宮内省無部

どーチュクノン・ヘチュ

そて、天地は眠る。「残らは彼めり」ンス性正を暗示したもので優姫なした。「天地は眠る。「残らは彼り暴の苦び、て蛇鼠の宗教楽的な和繁はローレール)、ことをは史け渡り暴の苦び、て蛇鼠の宗教で始まってをつ 大学に、帰くや一難ほと、デオ、

朝鮮郵船定期出帆

でない

一家の柱石である

か

丈

一般したものと解せられ、る原曲は

ロミオの死等々があり、

通

U

0)

滯

ち

なご

媥 り

で、特別が多いから です。これは宝宝の です。これは宝宝の ですが多いから は常多いから は常るといてい

なると、食事が進

12

は

中の オク かいる に な へん なん (人) ない (人

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

**養無斷上演映器** 

『どうなすつたのりねも個次さん てこんなこと言って、ちと質潔か

同六時(東)ラギオストウチ

川を治め

楽物で、未完成のきく近されたも のであるは後、リムスキー、コル

恐情的技師 大谷 鍾

東 同八時五〇分(大)世合義太夫 関イ時五〇分(大)世合義太夫

野なさいどかりか、血色がくろすんで吹出きないばかりか、血色がくろすんで吹出きないといいらくして落ち着かす、電気がいらくして落ち着かす、海峡では、下側では、とりわけ、蛇蜒やはは、下側で海峡では、上りおけ、蛇蜒やは、地域中はは絶滅になります。 たりわけ、蛇蜒やは絶滅になります。 かやうな方に産婦人科の方は『エビオス 淀を設けるものではありませる。 たりおけ、蛇蜒やは絶滅になります。 時時なのとで、高中はするからではありませる。 たいばかりが はったいは 一般に変した。 これ等でなることは絶滅になります。 時時なのとで、高中はするからでは、一般になり、一般になり、一般になり、一般には、一般になり

病 0

進

全體の空氣を暗くがあつては、家庭があつては、家庭 それには何を措



を言 遳 12 ል は お 理 F

三〇〇鏡…一一・六〇

アン

ていた。一変せて、いろく、程志り生せんか?元家がなく、たん。一変せて、いろく、程本は、野野の動物には一なったからで、要な成分を充分に携ることが出来なくなつたいらで、要な成分を充分に携ることが出来なくなつたからで、要な成分を充分に携ることが出来なくなつたからで、要な成分を充分に携ることが出来なくなったからで、要な成分を充分に携ることが出来なくなったからで、要な成分を充分には満端なくエビオス錠を服ませて下さい。胃腸がしんからで、からないで、対している。

EBIIS